

設 計 書

工事名称 松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事

工事場所 松戸市和名ヶ谷 1 , 3 6 0 番地

期 間 自 令和 年 月 日
至 令和 8年 3月 19日

設計年月日 令和 7年 8月 日

(工事価格)

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参 考

[illegible]

[illegible]

建築工事					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	新設	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	新設	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
ブラインド改修	撤去	1	式		
ブラインド改修	改修	1	式		
計					
その他改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	積込み・運搬・処分	1	式		

[illegible]

建築工事						
建築工事		防水改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【アスファル防水面（北側）】						
既存防水層撤去 / 平場	屋上防水層 アスファル防水層 アスベスト(レベール3)含む 集積共	10.5	m ²			
既存防水層撤去 / 立上り	屋上防水層 アスファル防水層 アスベスト(レベール3)含む 集積共	49	m ²			
立上り押え金物撤去	シール共	163	m			
ルーフドレン撤去（小運搬共）（手間）	屋上用	5	か所			
トップライト廻りシーリング撤去	集積共	105	m			
温度計撤去 / PS立上り部	集積・目外補修共 800×500×300程度	1	式			
【アスファル防水面（南側）】						
既存防水層撤去 / 立上り	屋上防水層 アスファル防水層 アスベスト(レベール3)含む 集積共	41.3	m ²			
立上り押え金物撤去	シール共	138	m ²			
ルーフドレン撤去（小運搬共）（手間）	屋上用	4	か所			
屋上点検口撤去	集積共	1	か所			
【保護コンクリート面】						
伸縮目地撤去及びハックアップ材挿入（材工共）	ボリカレンシーリング、絶縁テープ 共	120	m			
建具廻りシーリング撤去	集積共	23	m			
ルーフドレン撤去（小運搬共）（手間）	屋上用	2	か所			
計						

建築工事						
防水改修			新設			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【アスファルト防水面】 (北側)						
既存下地清掃 / 平場	ルン 高圧水洗・デ ック 汚 掛 け 程 度	191	m ²			
既存下地清掃 / 立上り	ルン 高圧水洗・デ ック 汚 掛 け 程 度	49	m ²			
欠損部補修 (材工共)	幅100mm,長さ100mm,平均深20mm程度 、ホ ー リマセメント埋	10	か所			
既存下地浮き部 ホ ー 樹脂注入	狭幅部 5本 / m	16.3	m			
既存下地浮き部 ホ ー 樹脂注入	一般部 16本 / m ²	19.1	m ²			
下地活性材	1.2kg / m ²	191	m ²			
劣化部分補修	十字切開炙り戻し 平滑処理	19	か所			
下地調整兼仮防水 (材工共) / 立上り	厚さ 2mm	49	m ²			
アスファルト防水	D-1(露出絶縁) 平場 - -	191	m ²			
断熱材敷き込み	脆弱部等劣化撤去部分	10.5	m ²			
アスファルト防水	D-1(露出絶縁) 立上り部 - -	49	m ²			
端部シーリング	一般部 ホ ー リンゲン系(PU-2) 15 × 10	163	m			
防水押え金物	アルミ製 アスファルト防水用	163	m			
改修用ドレン (材工共)	縦引き 鉛製100φ用 アルミストレーナー共	1	か所			
改修用ドレン (材工共)	横引き 鉛製100φ用 アルミストレーナー共	1	か所			
改修用ドレン (材工共)	縦引き 鉛製150φ用 アルミストレーナー共	3	か所			
ガラスシーリング / トップ ライト	一般部 シリコン系(SR-1) 10 × 10	105	m			

建築工事						
防水改修			新設			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
可とう形改修 塗材 E	ふっ素系 薄付け仕上 立ち上がり 既存塗装面	23.6	m ²			
ガラス清掃	(屋外側のみ) 30m ² 程度	1	式			
【アスファルト防水面】 (北側) / PS立上 り						
既存下地清掃	外シ 高圧水洗・デッキ 汚掛程度	22.8	m ²			
下地調整兼仮防水 (材工共)		22.8	m ²			
塗膜防水	X-2 密着工法 外タタキ系 平面 表面塗装メーカー標準色	22.8	m ²			
可とう形改修 塗材 E	ふっ素系 薄付け仕上 立ち上がり 既存塗装面	7.2	m ²			
フード部分シリング	6ヶ所 撤去共	1	式			
【アスファルト防水面】 (南側)						
既存下地清掃 / 平 場	外シ 高圧水洗・デッキ 汚掛程度	191	m ²			
既存下地清掃 / 立 上り	外シ 高圧水洗・デッキ 汚掛程度	41.3	m ²			
欠損部補修 (材工共)	幅100mm,長さ100mm,平均深20mm程度 、ホーリマーセメントモルタル埋	10	か所			
既存下地浮き部 部 杉樹脂注入	狭幅部 5本 / m	13.8	m			
既存下地浮き部 部 杉樹脂注入	一般部 16本 / m ²	19.1	m ²			
下地活性材	1.2kg / m ²	191	m ²			
劣化部分補修	十字切開炙り戻し 平滑処理	19	か所			
下地調整兼仮防水 (材工共) / 立上 り	厚さ 2mm	41.3	m ²			
アスファルト防水	D-1(露出絶縁) 平場 -	191	m ²			

建築工事						
防水改修			新設			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
アスファルト防水	D-1(露出絶縁) 立上り部 -	41.3	m ²			
端部シーリング	一般部 ホリゾン系 (PU-2) 15×10	138	m			
防水押え金物	アルミ製 アスファルト防水用	138	m			
改修用ドレン (材工共)	豎引き 鉛製100φ用 アルミストレーナー共	2	か所			
改修用ドレン (材工共)	豎引き 鉛製125φ用 アルミストレーナー共	2	か所			
可とう形改修 塗材 E	ふっ素系 薄付け仕上 立ち上がり 既存塗装面	22.7	m ²			
屋上点検口	ステンレス製 径600	1	か所			
モルタル補修(屋上点 検口)		1	式			
D P 塗装 (塗替え)	鉄鋼面 下地調整RB種 下塗り 変性エポキシ樹脂プライマー2回 上塗り等級 1級 既存塗膜除去共 5m ² 程度	1	式			
【アスファルト防水面】 (南側) / PS立上 り						
既存下地清掃	高圧水洗・デッキブラシ掛け程度	19.3	m ²			
下地調整兼仮防水 (材工共)		19.3	m ²			
塗膜防水	X-2 密着工法 エポキシ系 平面 表面塗装メーカー標準色	19.3	m ²			
可とう形改修 塗材 E	ふっ素系 薄付け仕上 立ち上がり 既存塗装面	6.8	m ²			
フード部分シーリング	12ヶ所 撤去共	1	式			

建築工事		内装改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【和室40畳】						
天井加工撤去	集積共	70.5	m ²			
壁加工撤去	両開き戸加工 集積共	64.4	m ²			
畳撤去	一畳 集積共	40	枚			
【和室12畳】						
ホ-ト撤去	劣化部分等脆弱部 6m程度	1	式			
天井加工撤去	集積共	2	m ²			
壁加工撤去	襖加工 集積共	49.9	m ²			
畳撤去	一畳 集積共	12	枚			
【和室6畳】						
壁加工撤去	襖加工 集積共	32.7	m ²			
畳撤去	一畳 集積共	6	枚			
【和室廊下】						
天井加工撤去	集積共	26.7	m ²			
壁加工撤去	集積共	81	m ²			
ロールスクリーン 撤去	和室40畳 4か所 和室6畳 4か所 集積共	1	式			

[illegible]

建築工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【和室40畳】						
天井 ビニルクロス	不燃 ホ-ト面 素地ごしらえB種共	70.5	m ²			
壁 ビニルクロス	不燃 ホ-ト面 素地ごしらえB種共	47.8	m ²			
両開き戸 ビニルクロス	不燃 ホ-ト面 素地ごしらえB種共WD11 両開き戸 1800×2300 4枚	16.6	m ²			
E P 塗り 改修仕様	コンクリート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	15.1	m ²			
畳敷き	標仕D種 畳表C2 柄へり Ht 畳床KT-	40	枚			
AW19	ロールスクリーン新設 580×2500	4	か所			
WD10 805×2000	アクリル和紙 張り替え 805×2000 撤去共	4	枚			
E P - G 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面) 20m 程度	1	式			
【和室12畳】						
天井 ホ-ト	劣化部分等脆弱部 2m程度	1	式			
天井 ビニルクロス	不燃 ホ-ト面 素地ごしらえB種共	2	m ²			
壁 ビニルクロス	不燃 ホ-ト面 素地ごしらえB種共	39.7	m ²			
襖 ビニルクロス	不燃 ホ-ト面 素地ごしらえB種共 WD6 引違襖 850×2000 2枚 WD7 引違襖 850×2000 4枚	10.2	m ²			
WD14 2950×2000	アクリル和紙 張り替え 910×2000 撤去共	3	枚			
畳敷き	標仕D種 畳表C2 柄へり Ht 畳床KT-	12	枚			
排煙ホ-レ-タ調整	1か所	1	式			

建築工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【和室6畳】						
壁 ビニルクロス	不燃 ボード面 素地ごしらえB種共	26.5	m ²			
襖 ビニルクロス	不燃 ボード面 素地ごしらえB種共 WD8 引違襖 775×2000 4枚	6.2	m ²			
畳敷き	標仕D種 畳表C2 柄へり Ht 畳床KT-	6	枚			
AW19 '	ロールスクリーン新設 580×580	4	か所			
E P - G 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面) 出窓部分	1	式			
ガラスシーリング	一般部 シリコン系(SR-1) 10×10 出窓部分	1	式			
D P 塗装 (塗替え)	鉄鋼面 下地調整RB種 下塗り 変性I ^Ⅱ 杉樹脂プライマ-2回 上塗り等級 1級 既存塗膜除去共 出窓部分	1	式			
【和室廊下】						
天井 ビニルクロス	不燃 ボード面 素地ごしらえB種共	26.7	m ²			
壁 ビニルクロス	不燃 ボード面 素地ごしらえB種共	81	m ²			
E P 塗り 改修仕様	コンクリート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	50.8	m ²			
ガラス清掃	屋内外 50m ² 程度	1	式			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し (屋上防水改修)		1	式			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
養生 (屋上防水改修)	アスファルト防水(防水保護層共)	298	m ²			
養生(外壁改修)		1	式			
養生(内部改修)	複合改修	155	m ²			
床面養生	ビニールシート+合板厚12共 整理清掃後片付け共	1,066	m ²			
床面養生	ビニールシート+合板厚12共 整理清掃後片付け共	605	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	アスファルト防水(防水保護層共)	298	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		1	式			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	155	m ²			
計						

建築工事 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場	運搬共	1	式			別紙 00-0004
枠組本足場	建枠 900×1700 22m未満 -	144	m ²			
枠組本足場	安全手ですり	12.6	m			
計						
内部足場	運搬共	1	式			別紙 00-0005
【和室】						
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 -	155	m ²			
【メインアリーナ】						
枠組本足場	建枠 1200×1700 12m未満 - 運搬共	558	m ²			
枠組本足場	安全手ですり	113	m			
枠組棚足場	H9.1m～H10.8m	462	m ²			
枠組棚足場	H10.8m～H12.5m	462	m ²			
【サブアリーナ】						
枠組本足場	建枠 1200×1700 12m未満 - 運搬共	302	m ²			
枠組本足場	安全手ですり	44.4	m			
ブラケット足場		115	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

現場説明書

1. 工事名称 松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事
2. 工事場所 松戸市和名ヶ谷1, 360番地
3. 説明事項

<一般事項>

- ・ 工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・ 契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し提出すること。
- ・ 関係官公署への届出は、遅滞なく行うこと。
- ・ 別途電気設備工事及び機械設備工事が発注されるため、工程及び資材置場等の調整を行うこと。
- ・ 騒音、振動が発生する作業は、事前に施設管理者と十分協議し、作業を行うこと。
- ・ アスファルト防水及びウレタン塗膜防水の保証期間は10年とする。

<工程について>

- ・ 着工日から12月8日までの期間、メインアリーナ及び駐車場が一般利用できる工程を組むこと。
- ・ メインアリーナとサブアリーナ間の屋上防水工事について、空調室外機設置前までに完了するように機械設備工事と調整すること。
- ・ 工事の日程等は、施設管理者および関係者に事前に周知を図ること。

<仮設について>

- ・ 搬出入時は、適宜、交通誘導員等を配置し、安全確保に努めること。
- ・ 仮設類については、施設管理者と十分協議の上、施設利用者の安全に配慮した計画とすること。

<週休2日制適用工事について>

- ・ 本工事は、週休2日工事（発注者指定方式）である。
- ・ 受注者は、現場閉所（休息）による週休2日工事として取り組むこと。
なお、予定価格については4週8休達成相当の経費を補正している。
- ・ 週休2日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

<注意事項>

- ・ 提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。
- ・ 検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。
- ・ 落札者には契約締結後、大容量転送ファイルシステムにて書式データ・図面データ等を送付する。

松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/400・2000
A-06	2階 平面図	1/100
A-07	3階 平面図	1/100
A-08	R階 平面図	1/100
A-09	断面図	1/100
A-10	建具表	1/100
A-11	防水改修工事図（１）	1/100
A-12	防水改修工事図（２）	1/20
A-13	和室改修工事図（１）	1/50
A-14	和室改修工事図（２）	1/50・30
A-15	和室改修工事図（３）	1/50
A-16	外部仮設計画図（参考図）	1/100
A-17	内部仮設計画図（参考図）（1）	1/100
A-18	内部仮設計画図（参考図）（2）	1/100
A-19		
A-20		
A-21		
A-22		
A-23		
A-24		
A-25		

工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事

工事設計図

令和7年2月10日

仕 様 書

I 工事概要

1. 工事場所

松戸市和名ヶ谷1,360番地（松戸市和名ヶ谷スポーツセンター）

2. 敷地面積

9,871.19㎡

3. 改修建物概要

用 途：運動施設

構 造：RC造

階 数：地上3階

建築面積：延べ面積：9,026.76㎡

最高高さ：18.90m（軒高さ：13.70m）

4. 工事内容

工事種目	工事範囲
2 仮設工事	足場設置・資材置場・ガードフェンス
3 防水改修工事	アスファルト防水、ウレタン塗膜防水
4 外壁改修工事	外壁補修、シーリング打替
5 建具改修工事	各アリーナ ブラインド、ガラスフィルム新設
6 内装改修工事	和室内 床・壁・天井仕上げ張替え
7 塗装改修工事	-
8 耐震改修工事	-
9 環境配慮改修工事	-
10 その他	

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下、「改修標仕」という。）及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下「標仕」という。）による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と※印の付いた場合は共に適用する。

(3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) 図印は「図等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様

工事名称

発注者

設計

監理

施工建築

電気

機械

緊急連絡先

文字(白)

下地(青)

ライン(白)

1800

900

(1) 材料

1) 耐水合板(ラウン厚み12mm SDP仕上げ)

2) 枠及び枠木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2) 注意事項

1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章 項 目

特 記 事 項

① ① 適用基準等

② ② 工事実績情報サービス(GORINS)への登録

③ ③ 設計図書

4 ④ 電気保安技術者

⑤ ⑤ 施工条件

⑥ ⑥ 発生材の処理等

⑦ ⑦ 材料の品質等

⑧ ⑧ 化学物質を放散する建築材料等

⑨ ⑨ 特別な材料の工法

10 ⑩ 技能士

⑪ ⑪ 化学物質の濃度測定

⑫ ⑫ 完成図等

⑬ ⑬ 松戸市建築工事提出書類等一覧表による

章 項 目

特 記 事 項

13 ⑬ 完成写真

⑭ ⑭ 設備工事との取合い

15 ⑮ 設計図

⑯ ⑯ 工事写真

⑰ ⑰ ワンデーレスポンスの実施

⑱ ⑱ 火災保険等

⑳ ㉑ 仮設工事

㉒ ㉒ 養生

3 ㉓ 仮設間仕切り等の種別

4 ㉔ 監督職員事務所

㉕ ㉕ 工事用水

㉖ ㉖ 工事電力

7 ㉗ 防音パネル

8 ㉘ 仮門

㉙ ㉙ 仮囲い

10 ㉚ 仮設道路

㉛ ㉛ アスファルト防水

2 ㉜ 改質アスファルトシート防水

章 項 目

特 記 事 項

3 ㉝ 合成高分子系ルーフィングシート防水

④ ㉞ 塗膜防水

⑤ ㉟ 脱気装置

㊱ ㊱ シーリング

7 ㊲ ㊲ とい

8 ㊳ アルミニウム製製本

9 ㊴ ㊴ 折板葺

4 ㊵ ㊵ 外壁改修工事

共通事項

特 記 事 項

[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1~3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・POS工法		・S-F1	・S-M1	・カラー ※非歩行
・S4S工法		・S-F2	・S-M2	・シルバー
・S3S工法				・軽歩行
・M4S工法		・S-M1	・S-M2	
・POS1工法		・S1-F1	・S1-M1	
○M3S1工法		・S1-F2	○S1-M2	
○S4S1工法		・S1-M3		
・M4S1工法				

脱気装置 ※設けない ・設ける [3.5.3]

目地処理 PCコンクリート [3.5.4]

[3.6.2~4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
○POX工法	平場	○X-1(絶縁工法)
○POX工法	立上り	○X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合) ・活膜を残す [3.2.6]

脱気装置 ・設けない ※設ける [3.6.3]

[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種 類	材 質	設置数量
○平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂	○約90㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	○ステンレス ・鋳鉄	
	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂	
	・ステンレス ・銅	()㎡当たり1箇所

シーリング改修工法の種類 [3.1.4] [表3.1.2]

・シーリング充填 ・シーリング再充填工法 ○シーリング打替え

・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法

シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2] [表3.1.1]

※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
○打ち継ぎ目地、伸縮目地	○ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)
○建具廻り、金属取合い	○変成シリコン系(MS-2)(仕上げなし)
○ガラス廻り	○シリコン系(SR-1)

㊲ ㊲ といの材質 [3.8.2] [表3.8.1]

・配管用鋼管 ※カラー硬質塩化ビニル管 ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) ㉞

鋼管製との防腐 [3.8.2] [表3.8.3]

・次の箇所は行わない()

・防露材のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・

掃 除 口 ※有り ・無し ・

たてどい受金物の取付け [3.8.3]

・ 図示

[3.9.2~3] [表3.9.1]

種 類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備 考
・250形	※1.6以上	・240 ・250	固定方法及び間隔は品質計画で	隅角部及び突き当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350	定めたもの	

板材折曲げ形の取付工法 ・図示 [3.9.3]

(13.3.2~3)

形 式	※重ね形	・はぎ縫め形	・
形状 (mm)	山高()	山ピッチ()	板厚 ・0.6 ※0.8
材 料	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯		
(規格等)	GBLCOR-20-AZ150		
軒先面戸板	※有り ・無し		
断 熱 材	・有り(種別) 厚さ: (mm) ※無し		
耐火性能	・30分耐火 ※無し		

1 ㊵ ㊵ 外壁改修工事

調査範囲 ※外壁改修範囲(庇上裏含む) ・図示の範囲 [1.5.2]

調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。 また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。

塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の割れ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。

調査報告書の部数 ※2部

工事名 松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事

図面名 特記仕様書（1）

作成年月日 令和7年2月10日 変更年月日

縮 尺 No Scale 図面番号 A-01

設 計 株式会社 山岡設計事務所
千葉県知事登録 第1-2306-2686号
山岡 治
一級建築士大臣登録第272498号

松戸市 街づくり部 建築保全課

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																																																																																									
4 外 壁 改 修 工 事 共 通 事 項	2 改修材料	・ 既製調合モルタル <table><tr><th>保水率 (%)</th><th>単位容積質量 (kg/ l)</th><th colspan="2">接着強さ (N/?)</th><th>長さ変化率 (%)</th><th>曲げ強さ (N/?)</th></tr><tr><td>70.0以上</td><td>1.80程度</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.20以上</td><td>4.0以上</td></tr></table> ・ バテ状エポキシ樹脂 <table><tr><th>初期硬化性(標準)</th><th>接着強さ(標準)</th><th>圧縮強さ</th><th>曲げ強さ</th><th>硬化収縮率</th></tr><tr><td>2.0N/?以上</td><td>6.0N/?以上</td><td>50.0N/?以上</td><td>30.0N/?以上</td><td>3.0(%)以上</td></tr></table> a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常温(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・ 可とう性エポキシ樹脂 <table><tr><th>性能</th><th>常温物性</th><th>低湿性</th><th>加熱変化</th><th>引張接着性</th></tr><tr><td>引張強さ</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td></tr><tr><td>伸び</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>破断時の伸び 10.0%以上</td></tr></table> 比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常温(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・ タイル部分張替え工法用材料 <table><tr><th>接着強さ</th><th>標準</th><th>低湿硬化</th><th>アルカリ温水</th><th>冷熱水中経返し</th><th>熱劣化</th></tr><tr><td>強度 (N/?)</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td></tr><tr><td>凝集破壊率(%)</td><td>75以上</td><td>50以上</td><td>60以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td></tr></table> <table><tr><th>皮膜物性</th><th>標準</th><th>高温</th><th>低温</th><th>アルカリ温水</th><th>熱劣化</th></tr><tr><td>引張強さ (N/?)</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td></tr><tr><td>伸び(%)</td><td>30以上</td><td>30以上</td><td>30以上</td><td>20以上</td><td>20以上</td></tr></table> 貯蔵安定性 容器と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。 a. 外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e. ずれ抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ・ エポキシ樹脂モルタル <table><tr><th>接着強さ</th><th>圧縮強さ</th><th>曲げ強さ</th></tr><tr><td>1.0N/?以上</td><td>20.0N/?以上</td><td>10.0N/?以上</td></tr></table> a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e. 常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 ・ ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレンー酢ビ系等 <table><tr><th>曲げ強さ (N/?)</th><th>圧縮強さ (N/?)</th><th>標準時</th><th>遅湿時</th><th>低湿時</th></tr><tr><td>6.0以上</td><td>20.0以上</td><td>1.0以上</td><td>0.8以上</td><td>0.5以上</td></tr></table> 表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ ポリマーセメントスラリー <table><tr><th>広がり速度 (cm/s)</th><th>長さ変化率 (収縮)</th><th>引張接着性 (材齢28日)</th><th>曲げ性能 (材齢28日)</th><th>吸水性 (72時間)</th><th>耐久性 (劣化曲げ強さ)</th></tr><tr><td>3以上</td><td>3.0%以下</td><td>0.5N/?</td><td>5.0N/?</td><td>15%以下</td><td>6.0N/?</td></tr></table> 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 ・ 吸水性調整材 <table><tr><th>項目</th><th>全面形分(%)</th><th>吸水性(g)</th><th>接着強度(N/?)</th><th>界面破壊率(%)</th></tr><tr><td>品質・性能</td><td>表示値±1%以内</td><td>30分で1g以下</td><td>0.98以上</td><td>50%以下</td></tr></table> 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強さ (N/?)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)	70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上	初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率	2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上	性能	常温物性	低湿性	加熱変化	引張接着性	引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上	接着強さ	標準	低湿硬化	アルカリ温水	冷熱水中経返し	熱劣化	強度 (N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	凝集破壊率(%)	75以上	50以上	60以上	50以上	50以上	皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化	引張強さ (N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上	接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上	曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	標準時	遅湿時	低湿時	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	3以上	3.0%以下	0.5N/?	5.0N/?	15%以下	6.0N/?	項目	全面形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破壊率(%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下	4-2 外 壁 改 修 工 事 モ ル タ ル 塗 り 仕 上 げ 外 壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・ 行う(※監督職員の指示による)
	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強さ (N/?)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)																																																																																																														
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上																																																																																																															
初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率																																																																																																																
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上																																																																																																																
性能	常温物性	低湿性	加熱変化	引張接着性																																																																																																																
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上																																																																																																																
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																																
接着強さ	標準	低湿硬化	アルカリ温水	冷熱水中経返し	熱劣化																																																																																																															
強度 (N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上																																																																																																															
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	60以上	50以上	50以上																																																																																																															
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化																																																																																																															
引張強さ (N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上																																																																																																															
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上																																																																																																															
接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ																																																																																																																		
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上																																																																																																																		
曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	標準時	遅湿時	低湿時																																																																																																																
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上																																																																																																																
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																															
3以上	3.0%以下	0.5N/?	5.0N/?	15%以下	6.0N/?																																																																																																															
項目	全面形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破壊率(%)																																																																																																																
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下																																																																																																																
2 ひび割れ部改修工法	・ 既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.5] <table><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>※50～100</td><td>※40</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>※100～200</td><td>※70</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0未満</td><td>※150～250</td><td>※130</td><td>・</td></tr></table> 注入工法 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] <table><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ シーリング用材料</td><td>※1成成分又は2成成分 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う</td></tr><tr><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td></td></tr></table> ・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ・ バテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・	充填材料	品質・規格等	備 考	・ シーリング用材料	※1成成分又は2成成分 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う	・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024		4 浮き部改修工法	・ 既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]	改修工法の種類 材 料 品質・規格等																																																																														
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備 考																																																																																																																
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																																	
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・																																																																																																																
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・																																																																																																																
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・																																																																																																																
充填材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																		
・ シーリング用材料	※1成成分又は2成成分 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う																																																																																																																		
・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024																																																																																																																			
・ 充填工法 エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																				
・ モルタル塗替え工法 改修仕様4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・ 行わない ・ 図示																																																																																																																			
3 欠損部改修工法																																																																																																																				
4 浮き部改修工法																																																																																																																				
5 巾木モルタル塗																																																																																																																				
6 外壁改修工事																																																																																																																				
7 下地調整材																																																																																																																				
8 仕上げ塗材仕上げ																																																																																																																				
9 巾木モルタル塗																																																																																																																				
4-1 外 壁 改 修 工 事 コ ン ク リ ー ト 打 放 し 仕 上 げ 外 壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]																																																																																																																		

[4.1.4][4.3.4]				
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40	・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・

注入材料 [4.2.2]

※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4]

・ 行う(抜き取り部の補修方法：)

・ Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備 考
・ シーリング用材料	※1成成分又は2成成分 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う
・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・ タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]

接着剤の種類		品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル		
・ タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。	

・ タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8]

伸縮調整地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1]

位置 ※改修仕様表4.5.1による ・ 図示

 4 浮き部改修工法 | [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] | 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/m) 注入口箇所数 (箇所/m) 充填量 || ・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 | ※16 | ※25 | ※狭幅部：5本/m | ※25ml |
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・ ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16			※50ml
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法					

アンカーピン [4.2.2]

材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。

注入口付アンカーピン [4.2.2]

材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

・ 樹脂モルタル T3

 4-4 外 壁 改 修 工 事 塗 り 仕 上 げ 外 壁 | 1 既存塗装等の撤去及び下地処理 | 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] || ・ サンダー工法 | ※補強範囲 図示 | ・ ひび割れ部改修工法 |
・ 高圧水洗工法	※塗替え範囲 図示	・ 浮き部改修工法
・ 加圧力 ※12MPa程度		・ 欠損部改修工法
・ 塗膜はく離剥工法	※既存仕上面全体	
・ 水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

※下地調整材0-1 (既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]

※微弾性フィラー (既存吹付タイル面)

種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

仕上がり形状

・ 薄付け仕上塗材

・ 外装薄塗材Si
・ 可とう形外装薄塗材Si
・ 外装薄塗材E
・ 可とう形外装薄塗材E
・ 防水形外装薄塗材E
・ 外装薄塗材S
・ 複層塗材CE
・ 可とう形複層塗材CE
・ 複層塗材Si
・ 複層塗材E
・ 複層塗材RE
・ 複層塗材RS
・ 防水形複層塗材CE
・ 防水形複層塗材E
・ 防水形複層塗材RE
・ 防水形複層塗材RS

・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状
・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状
・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凸凹状
・ 砂壁状
・ ゆず肌状 ・ 凸凹処理 ・ 凸凹模様
耐候性 ※耐候形3種
・ 耐候形1種

上塗材
溶媒 ※水系 ・ 溶剤系
樹脂 ※アクリル系・ウレタン系
外観 ※つやあり・つやなし
・ メタリック
防水形の増塗材 ※行う

・ 可とう形改修用仕上塗材

・ 可とう形改修塗材E
・ 可とう形改修塗材RE
・ 可とう形改修塗材CE

・ 平たん状 ・ さざ波状
※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)

※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

・ コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱ セラミクリーンTR-S1同等とする

・ トップコート

下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所：屋上笠木、庇上部等
JIS表示：JIS A6906 建築用仕上塗材

 4 浮き部改修工法 | [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] | 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/m) 注入口箇所数 (箇所/m) 充填量 || ・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 | ※16 | ※25 | ※狭幅部：5本/m | ※25ml |
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・ ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16			※50ml
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法					

アンカーピン [4.2.2]

材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。

注入口付アンカーピン [4.2.2]

材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

・ 樹脂モルタル T3

 4-4 外 壁 改 修 工 事 塗 り 仕 上 げ 外 壁 | 1 既存塗装等の撤去及び下地処理 | 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] || ・ サンダー工法 | ※補強範囲 図示 | ・ ひび割れ部改修工法 |
・ 高圧水洗工法	※塗替え範囲 図示	・ 浮き部改修工法
・ 加圧力 ※12MPa程度		・ 欠損部改修工法
・ 塗膜はく離剥工法	※既存仕上面全体	
・ 水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

※下地調整材0-1 (既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]

※微弾性フィラー (既存吹付タイル面)

種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

仕上がり形状

・ 薄付け仕上塗材

・ 外装薄塗材Si
・ 可とう形外装薄塗材Si
・ 外装薄塗材E
・ 可とう形外装薄塗材E
・ 防水形外装薄塗材E
・ 外装薄塗材S
・ 複層塗材CE
・ 可とう形複層塗材CE
・ 複層塗材Si
・ 複層塗材E
・ 複層塗材RE
・ 複層塗材RS
・ 防水形複層塗材CE
・ 防水形複層塗材E
・ 防水形複層塗材RE
・ 防水形複層塗材RS

・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状
・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状
・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凸凹状
・ 砂壁状
・ ゆず肌状 ・ 凸凹処理 ・ 凸凹模様
耐候性 ※耐候形3種
・ 耐候形1種

上塗材
溶媒 ※水系 ・ 溶剤系
樹脂 ※アクリル系・ウレタン系
外観 ※つやあり・つやなし
・ メタリック
防水形の増塗材 ※行う

・ 可とう形改修用仕上塗材

・ 可とう形改修塗材E
・ 可とう形改修塗材RE
・ 可とう形改修塗材CE

・ 平たん状 ・ さざ波状
※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)

※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

・ コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱ セラミクリーンTR-S1同等とする

・ トップコート

下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所：屋上笠木、庇上部等
JIS表示：JIS A6906 建築用仕上塗材

 4 浮き部改修工法 | [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] | 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/m) 注入口箇所数 (箇所/m) 充填量 || ・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 | ※16 | ※25 | ※狭幅部：5本/m | ※25ml |
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・ ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16			※50ml
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法					

アンカーピン [4.2.2]

材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。

注入口付アンカーピン [4.2.2]

材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

・ 樹脂モルタル T3

 4-4 外 壁 改 修 工 事 塗 り 仕 上 げ 外 壁 | 1 既存塗装等の撤去及び下地処理 | 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] || ・ サンダー工法 | ※補強範囲 図示 | ・ ひび割れ部改修工法 |
・ 高圧水洗工法	※塗替え範囲 図示	・ 浮き部改修工法
・ 加圧力 ※12MPa程度		・ 欠損部改修工法
・ 塗膜はく離剥工法	※既存仕上面全体	
・ 水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

※下地調整材0-1 (既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]

※微弾性フィラー (既存吹付タイル面)

種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

仕上がり形状

・ 薄付け仕上塗材

・ 外装薄塗材Si
・ 可とう形外装薄塗材Si
・ 外装薄塗材E
・ 可とう形外装薄塗材E
・ 防水形外装薄塗材E
・ 外装薄塗材S
・ 複層塗材CE
・ 可とう形複層塗材CE
・ 複層塗材Si
・ 複層塗材E
・ 複層塗材RE
・ 複層塗材RS
・ 防水形複層塗材CE
・ 防水形複層塗材E
・ 防水形複層塗材RE
・ 防水形複層塗材RS

・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状
・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状
・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凸凹状
・ 砂壁状
・ ゆず肌状 ・ 凸凹処理 ・ 凸凹模様
耐候性 ※耐候形3種
・ 耐候形1種

上塗材
溶媒 ※水系 ・ 溶剤系
樹脂 ※アクリル系・ウレタン系
外観 ※つやあり・つやなし
・ メタリック
防水形の増塗材 ※行う

・ 可とう形改修用仕上塗材

・ 可とう形改修塗材E
・ 可とう形改修塗材RE
・ 可とう形改修塗材CE

・ 平たん状 ・ さざ波状
※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)

※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

・ コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱ セラミクリーンTR-S1同等とする

・ トップコート

下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所：屋上笠木、庇上部等
JIS表示：JIS A6906 建築用仕上塗材

 4 浮き部改修工法 | [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] | 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/m) 注入口箇所数 (箇所/m) 充填量 || ・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 | ※16 | ※25 | ※狭幅部：5本/m | ※25ml |
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・ ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16			※50ml
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法					

アンカーピン [4.2.2]

材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。

注入口付アンカーピン [4.2.2]

材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

・ 樹脂モルタル T3

 4-4 外 壁 改 修 工 事 塗 り 仕 上 げ 外 壁 | 1 既存塗装等の撤去及び下地処理 | 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] || ・ サンダー工法 | ※補強範囲 図示 | ・ ひび割れ部改修工法 |
・ 高圧水洗工法	※塗替え範囲 図示	・ 浮き部改修工法
・ 加圧力 ※12MPa程度		・ 欠損部改修工法
・ 塗膜はく離剥工法	※既存仕上面全体	
・ 水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

※下地調整材0-1 (既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]

※微弾性フィラー (既存吹付タイル面)

種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

仕上がり形状

・ 薄付け仕上塗材

・ 外装薄塗材Si
・ 可とう形外装薄塗材Si
・ 外装薄塗材E
・ 可とう形外装薄塗材E
・ 防水形外装薄塗材E
・ 外装薄塗材S
・ 複層塗材CE
・ 可とう形複層塗材CE
・ 複層塗材Si
・ 複層塗材E
・ 複層塗材RE
・ 複層塗材RS
・ 防水形複層塗材CE
・ 防水形複層塗材E
・ 防水形複層塗材RE
・ 防水形複層塗材RS

・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状
・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状
・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凸凹状
・ 砂壁状
・ ゆず肌状 ・ 凸凹処理 ・ 凸凹模様
耐候性 ※耐候形3種
・ 耐候形1種

上塗材
溶媒 ※水系 ・ 溶剤系
樹脂 ※アクリル系・ウレタン系
外観 ※つやあり・つやなし
・ メタリック
防水形の増塗材 ※行う

・ 可とう形改修用仕上塗材

・ 可とう形改修塗材E
・ 可とう形改修塗材RE
・ 可とう形改修塗材CE

・ 平たん状 ・ さざ波状
※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)

※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

・ コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱ セラミクリーンTR-S1同等とする

・ トップコート

下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材)
使用箇所：屋上笠木、庇上部等
JIS表示：JIS A6906 建築用仕上塗材

 4 浮き部改修工法 | [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] | 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/m) 注入口箇所数 (箇所/m) 充填量 || ・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 | ※16 | ※25 | ※狭幅部：5本/m | ※25ml |
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・ ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16			※50ml
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法					

アンカーピン [4.2.2]

材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。

注入口付アンカーピン [4.2.2]

材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

・ 樹脂モルタル T3

 4-4 外 壁 改 修 工 事 塗 り 仕 上 げ 外 壁 | 1 既存塗装等の撤去及び下地処理 | 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] || ・ サンダー工法 | ※補強範囲 図示 | ・ ひび割れ部改修工法 |
・ 高圧水洗工法	※塗替え範囲 図示	・ 浮き部改修工法
・ 加圧力 ※12MPa程度		・ 欠損部改修工法
・ 塗膜はく離剥工法	※既存仕上面全体	
・ 水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

※下地調整材0-1 (既存リシン面) [4.2.2][4.6.3]

※微弾性フィラー (既存吹付タイル面)

種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

仕上がり形状

・ 薄付け仕上塗材

・ 外装薄塗材Si
・ 可とう形外装薄塗材Si
・ 外装薄塗材E
・ 可とう形外装薄塗材E
・ 防水形外装薄塗材E
・ 外装薄塗材S
・ 複層塗材CE
・ 可とう形複層塗材CE
・ 複層塗材Si
・ 複層塗材E
・ 複層塗材RE
・ 複層塗材RS
・ 防水形複層塗材CE
・ 防水形複層塗材E
・ 防水形複層塗材RE
・ 防水形複層塗材RS

・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状
・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状
・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凸凹状
・ 砂壁状
・ ゆず肌状 ・ 凸凹処理 ・ 凸凹模様
耐候性 ※耐候形3種
・ 耐候形1種

上塗材
溶媒 ※水系 ・ 溶剤系
樹脂 ※アクリル系・ウレタン系
外観 ※つやあり・つやなし
・ メタリック
防水形の増塗材 ※行う

・ 可とう形改修用仕上塗材

・ 可とう形改修塗材E
・ 可とう形改修塗材RE
・ 可とう形改修塗材CE

・ 平たん状 ・ さざ波状
※ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)

※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

・ コンクリート打放し保護仕上塗材
※エスケー化研㈱ セラミクリーンTR-S1同等とする

注入材料 [4.2.2]

※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4]

・ 行う(抜き取り部の補修方法：)

・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]

・ バテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・ 充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]

・ エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ ポリマーセメントモルタル

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]

(モルタル笠木・バラベツト天端部分)

・ 樹脂モルタル T3

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																										
5 建具 改修 工事	17 オーバーヘッド ドア	[5.12.2~5][表5.12.1~2] <table><tr><th>セクション材料による区分</th><th>開閉方式</th><th>収納形式</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td><td>※バランスタイプ ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイルフト形 ・パーチカル形</td><td>※滑輪垂鉛めつき銅板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)</td></tr></table> 耐風圧性能()N/m² JIS A 4715	セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランスタイプ ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイルフト形 ・パーチカル形	※滑輪垂鉛めつき銅板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)	16 合成樹脂塗床	[6.10.2~3][表6.10.1~8] <table><tr><th>種 類</th><th>仕上の種類</th></tr><tr><td>・弾性ウレタン樹脂系塗床材</td><td>※平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・エポキシ樹脂系塗床材</td><td>・薄膜流しのべ工法(※平滑・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)</td></tr></table> ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970 ※F☆☆☆☆	種 類	仕上の種類	・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ	・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)	24 モルタル塗り	吸水調整材 [6.15.3] <table><tr><th>全固形分(%)</th><th>吸水量(g)</th><th>接着強度(N/?)</th><th>界面破壊率(%)</th></tr><tr><td>表示値±1.0%以内</td><td>30分間で1g以下</td><td>1.0以上</td><td>50以下</td></tr></table> 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 防水剤(防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類 建築用モルタルに用いるセメント防水剤 <table><tr><th>混合割合</th><th>凝結時間</th><th>曲げ及び圧縮強度比</th><th>吸水比</th><th>透水比</th></tr><tr><td>セメント質量の5%以下</td><td>JIS R 5201の試験において1時間以上</td><td>70%以上</td><td>95%以上</td><td>80%以上</td></tr><tr><td>始発</td><td>1時間以上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>終結</td><td>10時間以内</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 膨張性のひび割れ及びきりがないこと。 既製目地材 ※適用しない・適用する	全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破壊率(%)	表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下	混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比	セメント質量の5%以下	JIS R 5201の試験において1時間以上	70%以上	95%以上	80%以上	始発	1時間以上				終結	10時間以内				36 表示	衝突防止表示 ・図示(市販品・ステンレス製 径約30mm・()・(両面・片面)) (20.2.10) ・無し 表示標識 案内用図記号についてはJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所 監督職員の承諾する製造所。																																																
	セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質																																																																																														
	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランスタイプ ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイルフト形 ・パーチカル形	※滑輪垂鉛めつき銅板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)																																																																																														
種 類	仕上の種類																																																																																																	
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ																																																																																																	
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)																																																																																																	
全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破壊率(%)																																																																																															
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下																																																																																															
混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比																																																																																														
セメント質量の5%以下	JIS R 5201の試験において1時間以上	70%以上	95%以上	80%以上																																																																																														
始発	1時間以上																																																																																																	
終結	10時間以内																																																																																																	
⑥内装改修工事	①改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま。 ○図示の範囲	19 フローリング張り	[6.11.2~7][表6.11.1~6] <table><tr><th>種 別</th><th>材 種</th><th>工 法</th><th>仕上塗装等</th><th>備考</th></tr><tr><td>・天然木化粧複合フローリング</td><td>※なら</td><td>※直張り工法(C種)</td><td>※塗装品</td><td></td></tr><tr><td>・大型積層フローリング</td><td>・ガバ</td><td>・特殊張り(体育館床)</td><td>※無塗装品</td><td></td></tr><tr><td>・単層フローリング</td><td>・ブナ</td><td>・特殊張り(体育館床)</td><td>※無塗装品</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ガバ</td><td>・モルタル埋め込み</td><td>・塗装品</td><td></td></tr><tr><td>・フローリングブロック</td><td>・ブナ</td><td>・直張り</td><td>※塗装品</td><td></td></tr></table> ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	種 別	材 種	工 法	仕上塗装等	備考	・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品		・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品		・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品			・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品		・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品		25 タイル張り	タイルの種類 [6.16.3] <table><tr><th>施工箇所</th><th>形状寸法</th><th>きじ</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>再生材の</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td>磁器 石磁 陶器</td><td>滑り止め</td><td>有り 無し</td><td>標準 特注</td><td>適用</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・汚損タイル t6 TOT0ハイドロセラ・フロアPU薄型同等品 役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 タイルの見本焼き ※行わない・行う(※外装タイル・()) 内装タイル ※内装タイル接着剤張り JIS A 5548 有機系接着剤 接着剤のホルムアルデヒド ※F☆☆☆☆	施工箇所	形状寸法	きじ	うわぐすり	役物	色	再生材の	備考			磁器 石磁 陶器	滑り止め	有り 無し	標準 特注	適用																										37 ブラインド	・既存再使用する(養生方法：()) [2.3.1][5.1.6] ○新設する (20.2.12) <table><tr><th>形 式</th><th>種 類</th><th>スラットの材質</th><th>スラットの幅(mm)</th></tr><tr><td>※横形</td><td>・ギヤ式 ・コード式</td><td>※アルミニウム合金製</td><td>※35</td></tr><tr><td>・縦形</td><td>・操作棒式 ※電動制御</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・1本操作コード</td><td>・アルミスラット</td><td>・80</td></tr><tr><td></td><td>※2本操作コード</td><td>・クロススラット</td><td>・100</td></tr></table>	形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横形	・ギヤ式 ・コード式	※アルミニウム合金製	※35	・縦形	・操作棒式 ※電動制御				・1本操作コード	・アルミスラット	・80		※2本操作コード	・クロススラット	・100
種 別	材 種	工 法	仕上塗装等	備考																																																																																														
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品																																																																																															
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品																																																																																															
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品																																																																																															
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品																																																																																															
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品																																																																																															
施工箇所	形状寸法	きじ	うわぐすり	役物	色	再生材の	備考																																																																																											
		磁器 石磁 陶器	滑り止め	有り 無し	標準 特注	適用																																																																																												
形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)																																																																																															
※横形	・ギヤ式 ・コード式	※アルミニウム合金製	※35																																																																																															
・縦形	・操作棒式 ※電動制御																																																																																																	
	・1本操作コード	・アルミスラット	・80																																																																																															
	※2本操作コード	・クロススラット	・100																																																																																															
2 既存床の撤去並びに 下地補修	ビニル床シート等の除去	・仕上げ材のみ(接着剤とも) ・モルタル下地とも(※図示の範囲・除去範囲全て)																																																																																																
3 既存壁の撤去並びに 下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.4.9] ・図示 ・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う・行わない)	19 ポリスチレン フォーム床下材	20 カーベット敷き	26 セルフレベリング 材塗り	セルフレベリング材の種類 [6.17.2][表6.17.1] <table><tr><th>種類</th><th>フロー値 (mm)</th><th>凝結時間 始発(分) 終結(時間)</th><th>圧縮強度 (N/?)</th><th>下地接着強度 (N/?)</th><th>表面接着強度 (N/?)</th><th>長さ変化 (%)</th><th>衝撃 割れ及び</th><th>備考</th></tr><tr><td>せっこう系</td><td>19以上</td><td>45以上</td><td>20以上</td><td>15以上</td><td>0.5以上</td><td>0.4以上</td><td>0.05以下</td><td>割られ</td></tr><tr><td>セメント系</td><td>20以上</td><td>20以上</td><td>20以上</td><td>0.7以上</td><td>0.5以上</td><td>0.12以下</td><td>ないこと</td><td></td></tr></table> 試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。	種類	フロー値 (mm)	凝結時間 始発(分) 終結(時間)	圧縮強度 (N/?)	下地接着強度 (N/?)	表面接着強度 (N/?)	長さ変化 (%)	衝撃 割れ及び	備考	せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割られ	セメント系	20以上	20以上	20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下	ないこと		39 カーテン (暗幕、縦帷等)	・既存再使用する(養生方法：取外し再取付) [2.3.1][5.1.6] ・新設する (20.2.14) <table><tr><th>施工箇所</th><th>形 式</th><th>装 置</th><th>性 能</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td>片引 引分</td><td>電動</td><td>ひも引 手引</td><td>ひだの種類</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>片ひだ</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>遮光</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>防災仕様</td></tr></table>	施工箇所	形 式	装 置	性 能	備 考		片引 引分	電動	ひも引 手引	ひだの種類					片ひだ					遮光					防災仕様																																							
種類	フロー値 (mm)	凝結時間 始発(分) 終結(時間)	圧縮強度 (N/?)	下地接着強度 (N/?)	表面接着強度 (N/?)	長さ変化 (%)	衝撃 割れ及び	備考																																																																																										
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割られ																																																																																										
セメント系	20以上	20以上	20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下	ないこと																																																																																											
施工箇所	形 式	装 置	性 能	備 考																																																																																														
	片引 引分	電動	ひも引 手引	ひだの種類																																																																																														
				片ひだ																																																																																														
				遮光																																																																																														
				防災仕様																																																																																														
4 木下地等 (AP-1、2)	木材の品質 図示 [6.5.2][表6.5.2~3] 代用樹種 ※改修仕様表6.5.4にある [6.5.2][表6.5.4] ・代用樹種を適用しない箇所() 保存処理木材を適用する箇所()	21 石膏ボードその他 のボード張り	22 吸音材	27 断熱材	[19.9.2~3] <table><tr><th>種類</th><th>施工箇所</th><th>厚さ(mm)</th><th>品質等</th></tr><tr><td>・押出法 ポリスチレン フォーム 保温板</td><td>※2種b</td><td>※一般部</td><td>※25</td></tr><tr><td>・現場発泡断熱材</td><td>※断熱材補修部分</td><td>※25</td><td>特定フロンを使用しないもの</td></tr></table> JIS A 9521に基づく発砲プラスチック 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。	種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等	・押出法 ポリスチレン フォーム 保温板	※2種b	※一般部	※25	・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分	※25	特定フロンを使用しないもの	40 カーテンレール	・既存再使用する ・新設する [5.1.6] (20.2.14) 材 種 JIS A 4802 ・アルミニウム製 ※ステンレス製 形 式 ・片引き ・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)	41 カーテンボックス 及びブラインド ボックス	※既存再使用する。 ・新設する。 [5.1.6] (20.2.14) ・市販品(アルミニウム製) 溝幅×深さ(mm) ・90×150 ※120×150 ・150×80 ・ 色 彩 ※R-1 ・B-2(ブラウン・ブラック・ステンレスカラー) ※図示	41 天井点検口	材 質 ・アルミニウム製(・縦継タイプ・目地タイプ) ・既存取外し、再取付																																																																											
種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等																																																																																															
・押出法 ポリスチレン フォーム 保温板	※2種b	※一般部	※25																																																																																															
・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分	※25	特定フロンを使用しないもの																																																																																															
⑤接着剤	※F☆☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤 [6.5.3]			28 浴室天井材	市販品 <table><tr><th>材 質</th><th>表面仕上げ</th><th>性能</th><th>幅(mm)</th></tr><tr><td>※アルミニウム製</td><td>※焼付塗装品</td><td>・準不燃品</td><td>※200</td></tr><tr><td>・硬質塩化ビニル</td><td>・アルマイト処理品</td><td></td><td>・100</td></tr><tr><td></td><td>・塗装品</td><td></td><td>※300</td></tr><tr><td></td><td>・木目調</td><td></td><td>・100</td></tr></table>	材 質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	※アルミニウム製	※焼付塗装品	・準不燃品	※200	・硬質塩化ビニル	・アルマイト処理品		・100		・塗装品		※300		・木目調		・100	42 床点検口	材 質 ・アルミニウム製(受け枠 ※アルミ製・ステンレス製) ・ステンレス製(受け枠・ステンレス製(防水、防臭型))																																																																							
材 質	表面仕上げ	性能	幅(mm)																																																																																															
※アルミニウム製	※焼付塗装品	・準不燃品	※200																																																																																															
・硬質塩化ビニル	・アルマイト処理品		・100																																																																																															
	・塗装品		※300																																																																																															
	・木目調		・100																																																																																															
7 防腐、防蟻処理	行う箇所() [6.5.5] 防腐処理 ※行う(※図示) 防蟻処理 ・行う(※図示) 防腐、防蟻処理の種類、品質 表面処理用木材保存剤(防腐、防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。			29 フリーアクセス フロア	[20.2.2] <table><tr><th>施工箇所</th><th>構 法</th><th>仕上り高 (mm)</th><th>適用地震時 水平力</th><th>耐荷重性能</th><th>表面仕上げ材</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>・パネル構法 ・溝構法</td><td></td><td>・1.0 G ・0.6 G</td><td>・3,000 G ・5,000 G</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベット</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・パネル構法 ・溝構法</td><td></td><td>・1.0 G ・0.6 G</td><td>・3,000 G ・5,000 G</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベット</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・パネル構法 ・溝構法</td><td></td><td>・1.0 G ・0.6 G</td><td>・3,000 G ・5,000 G</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベット</td><td></td></tr></table> 5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものは同等品とする。 表面仕上り材の品質、規格等は各内装工事による。 スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様・図示 コンセント等の取付対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数は図示 配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20〜30パーセント 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り(※固定式・可変式：施工箇所は図示)	施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考		・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット			・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット			・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット		43 鋼製架及び 物品棚	<table><tr><th>種 類</th><th>規格等</th><th>耐荷重による種類</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種 類	規格等	耐荷重による種類																																																												
施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考																																																																																												
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット																																																																																													
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット																																																																																													
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット																																																																																													
種 類	規格等	耐荷重による種類																																																																																																
8 床板張り	フローリング及び縁板張り床 [6.5.8][6.11.2][表6.5.10] <table><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>色 柄</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>※無し</td><td>※NC・</td><td>※無地・マーブル柄</td><td>※2.5</td></tr><tr><td>下張り用床板</td><td>・有り</td><td>※合 板</td><td>t12mm</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・パーティクルボード</td><td>t15mm</td></tr><tr><td>床板</td><td>※単層フローリング (共に19.5.2にある)</td><td>ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・縁甲板</td><td>※ひのき</td><td></td></tr></table>	種 類	JISの記号	色 柄	厚さ(mm)	※無し	※NC・	※無地・マーブル柄	※2.5	下張り用床板	・有り	※合 板	t12mm			・パーティクルボード	t15mm	床板	※単層フローリング (共に19.5.2にある)	ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆	・		・縁甲板	※ひのき		9 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1~2] 屋外(・19形 ※25形) 屋内(※19形・25形 ※角スタッド工法 65形) 既存の埋込マイナースート ・使用する ※使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・行う ※行わない ・図示	44 流し台ユニット	<table><tr><th>種 類</th><th>寸法(L= mm)</th><th>適用内容</th><th>規格・品質等</th></tr><tr><td>・流し台</td><td>・900 ・1200 ・1500</td><td>・トラップ付き</td><td></td></tr><tr><td>・コンロ台</td><td>・600 ・700</td><td>・バックガード</td><td>・有り</td></tr><tr><td>・吊り戸棚</td><td>・1200 ・900 ・600</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・水切り棚</td><td>・1200 ・900</td><td>・トラップ付き</td><td></td></tr><tr><td>・作業台</td><td>・900 ・1200 ・1500</td><td></td><td></td></tr></table>	種 類	寸法(L= mm)	適用内容	規格・品質等	・流し台	・900 ・1200 ・1500	・トラップ付き		・コンロ台	・600 ・700	・バックガード	・有り	・吊り戸棚	・1200 ・900 ・600			・水切り棚	・1200 ・900	・トラップ付き		・作業台	・900 ・1200 ・1500																																															
種 類	JISの記号	色 柄	厚さ(mm)																																																																																															
※無し	※NC・	※無地・マーブル柄	※2.5																																																																																															
下張り用床板	・有り	※合 板	t12mm																																																																																															
		・パーティクルボード	t15mm																																																																																															
床板	※単層フローリング (共に19.5.2にある)	ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆	・																																																																																															
	・縁甲板	※ひのき																																																																																																
種 類	寸法(L= mm)	適用内容	規格・品質等																																																																																															
・流し台	・900 ・1200 ・1500	・トラップ付き																																																																																																
・コンロ台	・600 ・700	・バックガード	・有り																																																																																															
・吊り戸棚	・1200 ・900 ・600																																																																																																	
・水切り棚	・1200 ・900	・トラップ付き																																																																																																
・作業台	・900 ・1200 ・1500																																																																																																	
9 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1~2] 屋外(・19形 ※25形) 屋内(※19形・25形 ※角スタッド工法 65形) 既存の埋込マイナースート ・使用する ※使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・行う ※行わない ・図示	10 軽量鉄骨壁下地	スタッドの高さが6mを超える場合 ※図示 [6.7.3][表6.7.1]	45 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製																																																																																													
11 ビニル床シート張り	[6.8.2] <table><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>色 柄</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>※発泡層のないもの</td><td>※NC・</td><td>※無地・マーブル柄</td><td>※2.5</td></tr><tr><td>・発泡層のあるもの</td><td>※納物・無地</td><td>※納物・無地</td><td>・2.5</td></tr><tr><td>・防滑性ビニル床シート</td><td>・NF・NC</td><td>・納物・無地</td><td>・2.0</td></tr><tr><td>・防汚性ビニルシート</td><td></td><td></td><td>・2.0</td></tr></table> 工法 ※熱溶接工法・受付け(施工箇所：()) 防滑性ビニルシート：右記同等品とする。 ・防汚性ビニルシート：右記同等品とする。 接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆	種 類	JISの記号	色 柄	厚さ(mm)	※発泡層のないもの	※NC・	※無地・マーブル柄	※2.5	・発泡層のあるもの	※納物・無地	※納物・無地	・2.5	・防滑性ビニル床シート	・NF・NC	・納物・無地	・2.0	・防汚性ビニルシート			・2.0	46 ライニング天板	材 種 ・メラミンポストフォームt19 ・人工大理石																																																																											
種 類	JISの記号	色 柄	厚さ(mm)																																																																																															
※発泡層のないもの	※NC・	※無地・マーブル柄	※2.5																																																																																															
・発泡層のあるもの	※納物・無地	※納物・無地	・2.5																																																																																															
・防滑性ビニル床シート	・NF・NC	・納物・無地	・2.0																																																																																															
・防汚性ビニルシート			・2.0																																																																																															
12 ビニル床タイル張り	[6.8.2] <table><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>厚さ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※コンポジションビニル床タイル(半硬質)</td><td>CT</td><td>※2</td><td></td></tr><tr><td>・コンポジションビニル床タイル(軟質)</td><td>CTS</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ホモジニアスビニル床タイル</td><td>HT</td><td></td><td></td></tr></table> 接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆	種 類	JISの記号	厚さ(mm)	備 考	※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2		・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS			・ホモジニアスビニル床タイル	HT			47 家具 (流し台・棚)	材質 ・メラミン樹脂系化粧板 ・SUS製 [12.2.2][19.7.2] 形状、寸法 ※図示 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆																																																																															
種 類	JISの記号	厚さ(mm)	備 考																																																																																															
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2																																																																																																
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS																																																																																																	
・ホモジニアスビニル床タイル	HT																																																																																																	
13 帯電防止床タイル 張り	[6.8.2] <table><tr><th>種 類</th><th>厚さ(mm)</th><th>性 能</th></tr><tr><td>※コンポジションビニル床タイル</td><td>※2・</td><td>体積抵抗値(JIS K 6911による)</td></tr><tr><td>・ホモジニアスビニル床タイル</td><td>4.0又は4.5</td><td>1.0×10¹⁰Ω以下、または、</td></tr><tr><td></td><td></td><td>漏洩抵抗値(JIS A 1454による)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>1.0×10¹⁰Ω未満</td></tr></table> 接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆	種 類	厚さ(mm)	性 能	※コンポジションビニル床タイル	※2・	体積抵抗値(JIS K 6911による)	・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10 ¹⁰ Ω以下、または、			漏洩抵抗値(JIS A 1454による)			1.0×10 ¹⁰ Ω未満	48 窓小窓	・突出し型 金具：7A型材、ケ-ス：6「リ-グ-ト」樹脂、文字：ｼｼ印刷、4ｲﾝﾁ：270×80H (箇所)																																																																																
種 類	厚さ(mm)	性 能																																																																																																
※コンポジションビニル床タイル	※2・	体積抵抗値(JIS K 6911による)																																																																																																
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10 ¹⁰ Ω以下、または、																																																																																																
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)																																																																																																
		1.0×10 ¹⁰ Ω未満																																																																																																
14 視覚障害者用床 タイル (誘導用及び 注意喚起用床材)	ブロックパターンはJIS T 9251による [6.8.2] 色彩は黄色を原則とする。 屋内 ※塩化ビニル製 ・磁器又は石器質タイル(※300・()) ・レンジコンクリート製 屋外 ※レンジコンクリート製 ・磁器又は石器質タイル(※300・()) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆	49 窓小窓等	・平付型 金具：7A型材、ケ-ス：6「リ-グ-ト」樹脂、文字：ｼｼ印刷、4ｲﾝﾁ：270×80H (5 箇所)																																																																																															
15 ビニル幅木	高さ (mm) ・60 ・75 ・100 [6.8.2] 接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆	22 吸音材	※ビクトサイン 消防に確認取次表反映																																																																																															
		23 壁紙張り (掲示用クロス)	・階数表示 材質：ｽﾃﾝﾚｽ ｳﾍﾞﾗｲﾝ、文字：ｼｼ印刷、4ｲﾝﾁ150×150 (箇所)																																																																																															
		24 下地調整	50 鋼製床下地 (体育館用)																																																																																															
		25 壁紙の張り方	部材規格 大引き、根太類：※JIS G 3302(滑輪垂鉛めつき銅板、重鉛付着量Z12以上)																																																																																															
		26 壁紙の張り方	U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(重鉛付着量Z12以上)																																																																																															
		27 壁紙の張り方	縦継ぎ：※JIS K 6385(A種防振ゴム)																																																																																															
		28 壁紙の張り方	※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。																																																																																															
		29 壁紙の張り方	51 アルミ製移動階段																																																																																															
		30 壁紙の張り方	・セノー機 HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。																																																																																															
		31 壁紙の張り方	52 救助袋																																																																																															
		32 壁紙の張り方	・垂直式 ○階用																																																																																															
		33 壁紙の張り方	53 シャワー																																																																																															
		34 壁紙の張り方	・図示																																																																																															
		35 壁紙の張り方	54 キッチン																																																																																															
		36 壁紙の張り方	・図示																																																																																															
		37 壁紙の張り方	55 乾式二重床																																																																																															
		38 壁紙の張り方																																																																																																
		39 壁紙の張り方																																																																																																
		40 壁紙の張り方																																																																																																
		41 壁紙の張り方																																																																																																
		42 壁紙の張り方																																																																																																
		43 壁紙の張り方																																																																																																
		44 壁紙の張り方																																																																																																
		45 壁紙の張り方																																																																																																
		46 壁紙の張り方																																																																																																
		47 壁紙の張り方																																																																																																
		48 壁紙の張り方																																																																																																
		49 壁紙の張り方																																																																																																
		50 壁紙の張り方																																																																																																
		51 壁紙の張り方																																																																																																
		52 壁紙の張り方																																																																																																
		53 壁紙の張り方																																																																																																
		54 壁紙の張り方																																																																																																
		55 壁紙の張り方																																																																																																
		56 壁紙の張り方																																																																																																
		57 壁紙の張り方																																																																																																
		58 壁紙の張り方																																																																																																
		59 壁紙の張り方																																																																																																
		60 壁紙の張り方																																																																																																
		61 壁紙の張り方																																																																																																
		62 壁紙の張り方																																																																																																
		63 壁紙の張り方																																																																																																
		64 壁紙の張り方																																																																																																
		65 壁紙の張り方																																																																																																
		66 壁紙の張り方																																																																																																
		67 壁紙の張り方																																																																																																
		68 壁紙の張り方																																																																																																
		69 壁紙の張り方																																																																																																
		70 壁紙の張り方																																																																																																
		71 壁紙の張り方																																																																																																
		72 壁紙の張り方																																																																																																
		73 壁紙の張り方																																																																																																
		74 壁紙の張り方																																																																																																
		75 壁紙の張り方																																																																																																
		76 壁紙の張り方																																																																																																
		77 壁紙の張り方																																																																																																
		78 壁紙の張り方																																																																																																
		79 壁紙の張り方																																																																																																
		80 壁紙の張り方																																																																																																
		81 壁紙の張り方																																																																																																
		82 壁紙の張り方																																																																																																
		83 壁紙の張り方																																																																																																
		84 壁紙の張り方																																																																																																
		85 壁紙の張り方																																																																																																
		86 壁紙の張り方																																																																																																
		87 壁紙の張り方																																																																																																
		88 壁紙の張り方																																																																																																
		89 壁紙の張り方																																																																																																
		90 壁紙の張り方																																																																																																
		91 壁紙の張り方																																																																																																
		92 壁紙の張り方																																																																																																
		93 壁紙の張り方																																																																																																
		94 壁紙の張り方																																																																																																
		95 壁紙の張り方																																																																																																
		96 壁紙の張り方																																																																																																
		97 壁紙の張り方																																																																																																
		98 壁紙の張り方																																																																																																
		99 壁紙の張り方																																																																																																
		100 壁紙の張り方																																																																																																

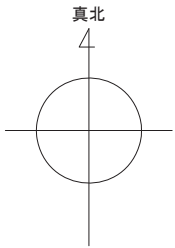
[6.2.2]

カラードフロアの撤去 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 |改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の案内 | 20 カーペット敷き | ・織じゅうたん [6.9.2~3][表6.9.1~2] | 種 別 | バイル系の種類 | 帯電性 | 色柄等 | 備考 | |-----|---------|--------|----------|----| | ・A種 | ・羊毛系 | 人体帯電圧 | ※無地 | | | ・B種 | ・紡毛系 | ※3KV以下 | ・柄物(標準品) | | | ・C種 | ・紡毛系 | | | | 帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電圧値3KV以下 ・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2~3][表6.9.1~2] | バイル形状 | バイル長(mm) | 工 法 | 備考 | |------------|----------|----------|----| | ・カットバイル | ※5~7 | ※全面接着工法 | | | | ※4~6 | ・グリッパ―工法 | | | ・レベルループバイル | ※4 | | | | ・カット、ループ併用 | | | | 帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電圧値3KV以下 ・タイルカーペット [6.9.2~3][表6.9.1~2] | バイル形状 | 種 類 | 規 格 | 総厚さ(mm) | 備 考 | |------------|------|----------|---------|-----| | ※ループバイル | ※第一種 | ※500×500 | ※6.5 | | | | ・第二種 | | | | | ・カットバイル | | | | | | ・カット、ループ併用 | | | | | 帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電圧値3KV以下(フリーアクセスフロア新設範囲) || 3 既存壁の撤去並びに 下地補修 | 間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.4.9] ・図示 ・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う・行わない) | 21 石膏ボードその他 のボード張り | 27 断熱材 | 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。 |

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																											
⑦塗装改修工事	①材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7. 1. 2～3] 屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7. 1. 8] 監督職員と協議する。	9環境配慮（グリーン）改修工事	1一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9. 1. 3] ・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示 分析によるアスベスト（7μm/5μm、7μm以下、7μm/5μm、7μm/5μm）含有の調査 ・行う（下表による） ・行わない	7ガラス改修工事 [9. 4. 2] 8屋上緑化改修工事 [9. 6. 2] 9透水性アスファルト舗装改修工事 [9. 7. 3] [表9. 7. 3] [9. 7. 3] [9. 7. 3] [9. 7. 3] [表9. 7. 1] [9. 7. 3] [表9. 7. 2] [9. 7. 6] [表9. 7. 5] [9. 7. 9]	開口部 鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口 鉄筋補強 後施工スラブ（雑壁部分） 埋戻し、穴埋め（補強筋無し） 埋戻し、穴埋め（補強筋有り） 開口補強 切込み（開口補強有り） 切込み（開口補強無し） 点検口 床、壁、天井 配管ビット、トレンチビット 既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業 トイレ 大便器・小便器 紙巻器 トイレ用手摺 洗面器（水栓含む） 掃除用流し（水栓含む） 廊下流し台（排水トラップ含む） 廊下流し台用横水栓 トイレブース（手摺・紙巻器用下地補強含む） 設備機器用下地補強 化粧鏡 換気扇 換気扇取付用アルミパネル 換気扇取付用壁枠																																																												
	②下地調整	[7. 2. 2～7] [表7. 2. 1～7] <table><tr><th>下地面の種類</th><th>下地調整の種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>木部</td><td>・RA種 ※RB種</td><td>新規画はRA種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>垂鉛めつき鋼面</td><td>・RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>モルタル、プラスター面</td><td>・RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>コンクリート、ALC及び押出成形</td><td>・RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>セメント版面</td><td>・RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>せっこうボード、その他ボード面</td><td>・RA種 ※RB種</td><td></td></tr></table> 既存下地面等のひび割れ部補修 ※行う ・行わない ※納止め JIS K 5674		下地面の種類	下地調整の種別			備考	木部	・RA種 ※RB種	新規画はRA種	鉄鋼面	・RA種 ※RB種		垂鉛めつき鋼面	・RA種 ※RB種		モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種		コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種		セメント版面	・RA種 ※RB種		せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種		2アスベスト含有吹付け材除去工事	吹付アスベストの施工数量調査を行う。 アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定時期及び場所等については下表による。 <table><tr><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点数 （各処理作業室毎）</th><th>備考</th></tr><tr><td>処理作業前</td><td>処理作業室内</td><td>2又は3点</td><td></td></tr><tr><td></td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>2点</td><td>全工区共通</td></tr><tr><td>処理作業中</td><td>処理作業室内</td><td>2点</td><td></td></tr><tr><td></td><td>セキュリティゾーン入口</td><td>1点</td><td>空気の流れを確認</td></tr><tr><td></td><td>負圧・除塵装置の排出口 （処理作業室外の場合）</td><td>1点</td><td>除塵装置の性能確認</td></tr><tr><td></td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td></td></tr><tr><td>処理作業後</td><td>処理作業室内</td><td>2点</td><td></td></tr><tr><td></td><td>（隔離シート撤去前）</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>4方向各1点 全工区共通</td></tr></table> （注）処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。 処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。 建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。（専任） 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。（専任） アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。	測定時期	測定場所	測定点数 （各処理作業室毎）	備考	処理作業前	処理作業室内	2又は3点			施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通	処理作業中	処理作業室内	2点			セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認		負圧・除塵装置の排出口 （処理作業室外の場合）	1点	除塵装置の性能確認		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		処理作業後	処理作業室内	2点			（隔離シート撤去前）	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点 全工区共通
	下地面の種類	下地調整の種別		備考																																																															
	木部	・RA種 ※RB種		新規画はRA種																																																															
	鉄鋼面	・RA種 ※RB種																																																																	
	垂鉛めつき鋼面	・RA種 ※RB種																																																																	
	モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種																																																																	
	コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種																																																																	
	セメント版面	・RA種 ※RB種																																																																	
	せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種																																																																	
	測定時期	測定場所		測定点数 （各処理作業室毎）	備考																																																														
処理作業前	処理作業室内	2又は3点																																																																	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通																																																																
処理作業中	処理作業室内	2点																																																																	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認																																																																
	負圧・除塵装置の排出口 （処理作業室外の場合）	1点	除塵装置の性能確認																																																																
	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																	
処理作業後	処理作業室内	2点																																																																	
	（隔離シート撤去前）	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点 全工区共通																																																																
3合成樹脂調査（SOP）	[7. 4. 3] [表7. 4. 1] <table><tr><th>下地の種類</th><th>新規塗りの種別</th><th>塗り替えの種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>木部</td><td>・A種 ※B種</td><td>※B種</td><td>下塗りJASS 18 M-304 中塗り及び上塗りJIS K 5516</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・A種 ※B種</td><td>※B種</td><td>穴埋め及びバテかいJASS 18 M-110 中塗り及び上塗りJIS K 5516</td></tr></table>	下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考	木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304 中塗り及び上塗りJIS K 5516	鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びバテかいJASS 18 M-110 中塗り及び上塗りJIS K 5516	3アスベスト含有吹付け材囲い込み工事	軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ（横スタッド工法 65φ≒300）とし、既存天井面には触れない。 関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。 アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。 ―内部測定点内訳― ＜1階： 点、2階： 点、3階： 点＞ 詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。																																																				
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考																																																																
木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304 中塗り及び上塗りJIS K 5516																																																																
鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びバテかいJASS 18 M-110 中塗り及び上塗りJIS K 5516																																																																
④鉄鋼面耐蝕性塗料塗り（DP）	[7. 8. 2～4] [表7. 8. 1～3] <table><tr><th>下地の種類</th><th>新規塗りの種別</th><th>塗り替えの種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>鉄面</td><td>※A種 ・B種</td><td>・A種 ※B種</td><td>JIS K 5659</td></tr><tr><td>垂鉛めつき面</td><td>※A種 ・B種</td><td>・A種 ※B種</td><td>JIS K 5659</td></tr><tr><td>コンクリート、押出成形セメント版面</td><td>※A種 ・B種</td><td>・A種 ※B種</td><td>JIS K 5658</td></tr></table> 下塗りJASS 18 M-109	下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考	鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659	垂鉛めつき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659	コンクリート、押出成形セメント版面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5658	4アスベスト成形板の処理工事	処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・仕上表による [9. 1. 5] <table><tr><th>材料名</th><th>厚さ（mm）</th><th>処理を行う範囲</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 施工調査 アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認。 (2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。 (3) アスベスト成形板使用数量の確認。	材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲																																													
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考																																																																
鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659																																																																
垂鉛めつき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659																																																																
コンクリート、押出成形セメント版面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5658																																																																
材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲																																																																	
5つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）	[7. 9. 2] [表7. 9. 1] 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗り替えの種別 ・A種 ※B種 下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660	5アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験の一部除去作業の方法 (1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は口500mm程度とする。 (2) 試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・部分除去 ・全面除去 アスベスト含有仕上塗材部分除去作業 (1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2) 建築技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 (集塵機付き「スラッグ」-工法同等とすること) (3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。（専任） 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 (5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。（専任） (6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7) 関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法―松戸市環境保全課 労働安全衛生法―柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。																																																																
6合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）	[7. 10. 2] [表7. 10. 1] 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663	6外断熱改修工事	断熱材の種類 [9. 3. 2] <table><tr><th>材料名</th><th>厚さ（mm）</th></tr><tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td><td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタンフォーム</td><td>・ フェノールフォーム</td></tr><tr><td>・ ロックウール</td><td>・ グラスウール</td></tr></table> 外装材の種類 [9. 3. 2] <table><tr><th></th><th>防火性能</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> 既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9. 3. 3] 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 通気層 ・有り（ mm） ・なし [9. 3. 4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記無き事項は、製造所の仕様による。	材料名	厚さ（mm）	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム	・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ 硬質ウレタンフォーム	・ フェノールフォーム	・ ロックウール	・ グラスウール		防火性能																																																						
材料名	厚さ（mm）																																																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム	・ 押出法ポリスチレンフォーム																																																																		
・ 硬質ウレタンフォーム	・ フェノールフォーム																																																																		
・ ロックウール	・ グラスウール																																																																		
	防火性能																																																																		
7合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP-T）	[7. 11. 2] [表7. 11. 1] 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗り替えの場合 <table><tr><th>既存塗膜</th><th>下地調整</th><th>種別</th></tr><tr><td>合成樹脂エマルション模様塗り</td><td>※RB種</td><td>※A種</td></tr><tr><td></td><td>・RC種</td><td>※C-3種</td></tr><tr><td>平滑な塗料塗り</td><td>※RB種</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td></td><td>・RC種</td><td>・C-1種 ・C-2種</td></tr></table> 下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663	既存塗膜	下地調整	種別	合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種		・RC種	※C-3種	平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種		・RC種	・C-1種 ・C-2種																																																			
既存塗膜	下地調整	種別																																																																	
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種																																																																	
	・RC種	※C-3種																																																																	
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種																																																																	
	・RC種	・C-1種 ・C-2種																																																																	
8ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）	[7. 12. 2] [表7. 12. 1] ・A種 ※B種 1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502																																																																		
⑨オイルステイン塗り（OS）	[7. 13. 2] [表7. 13. 1]																																																																		
10木材保護塗料塗り（WP）	[7. 14. 2] [表7. 14. 1] ・A種 ※B種 JASS 18 M-307																																																																		
11ポリウレタン樹脂塗装（2-UC）	フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種																																																																		
8耐震改修工事																																																																			
	『耐震補修工事構造特記仕様書』による。																																																																		

工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（4）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-04
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（４）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-04
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

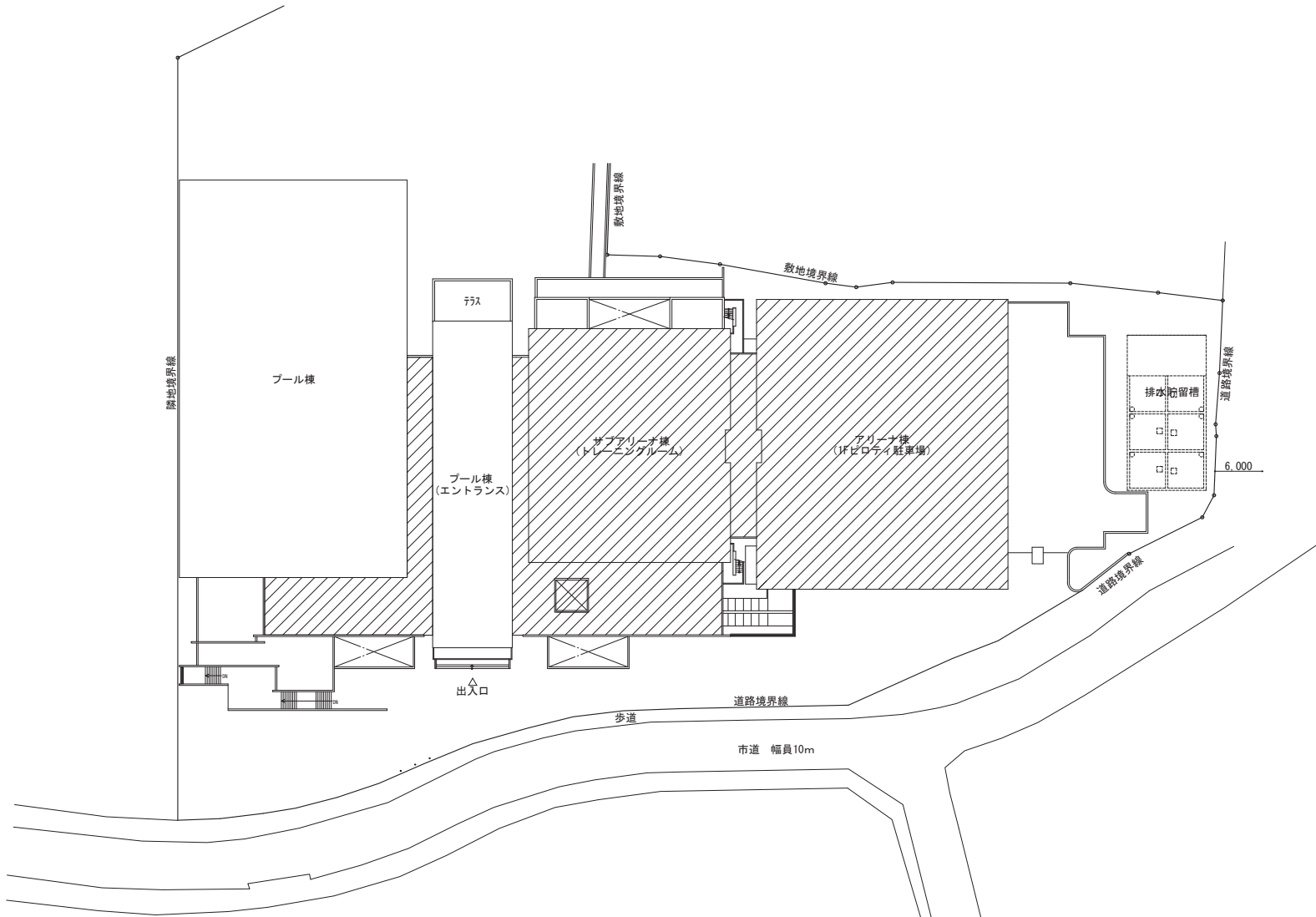
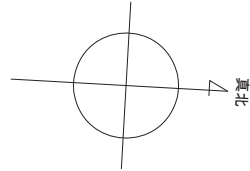


工事場所：松戸市和名ケ谷1,360番地
施設名称：松戸市和名ケ谷スポーツセンター

案内図 1/2000



工事場所を示す

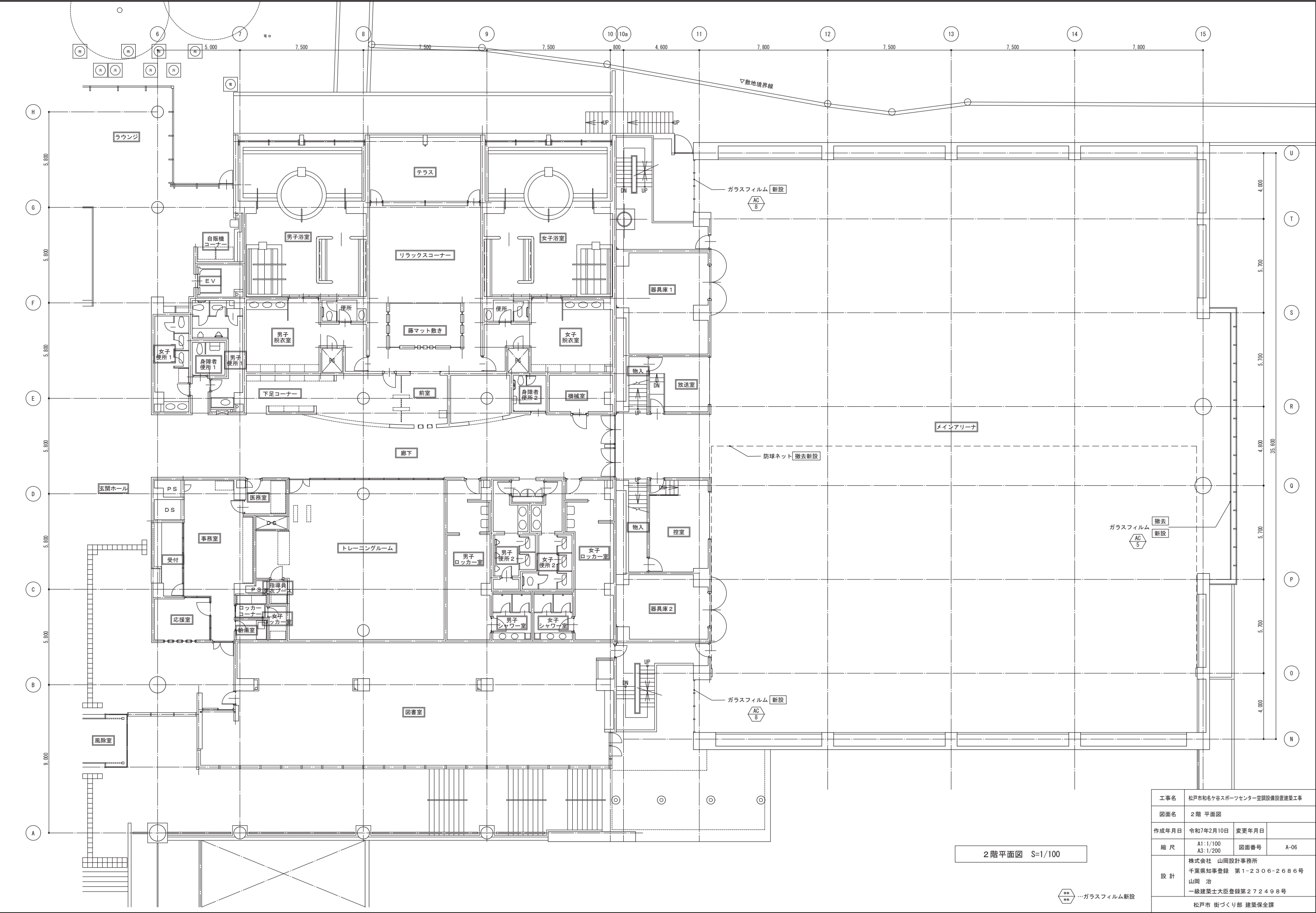


配置図 1/400



工事箇所を示す

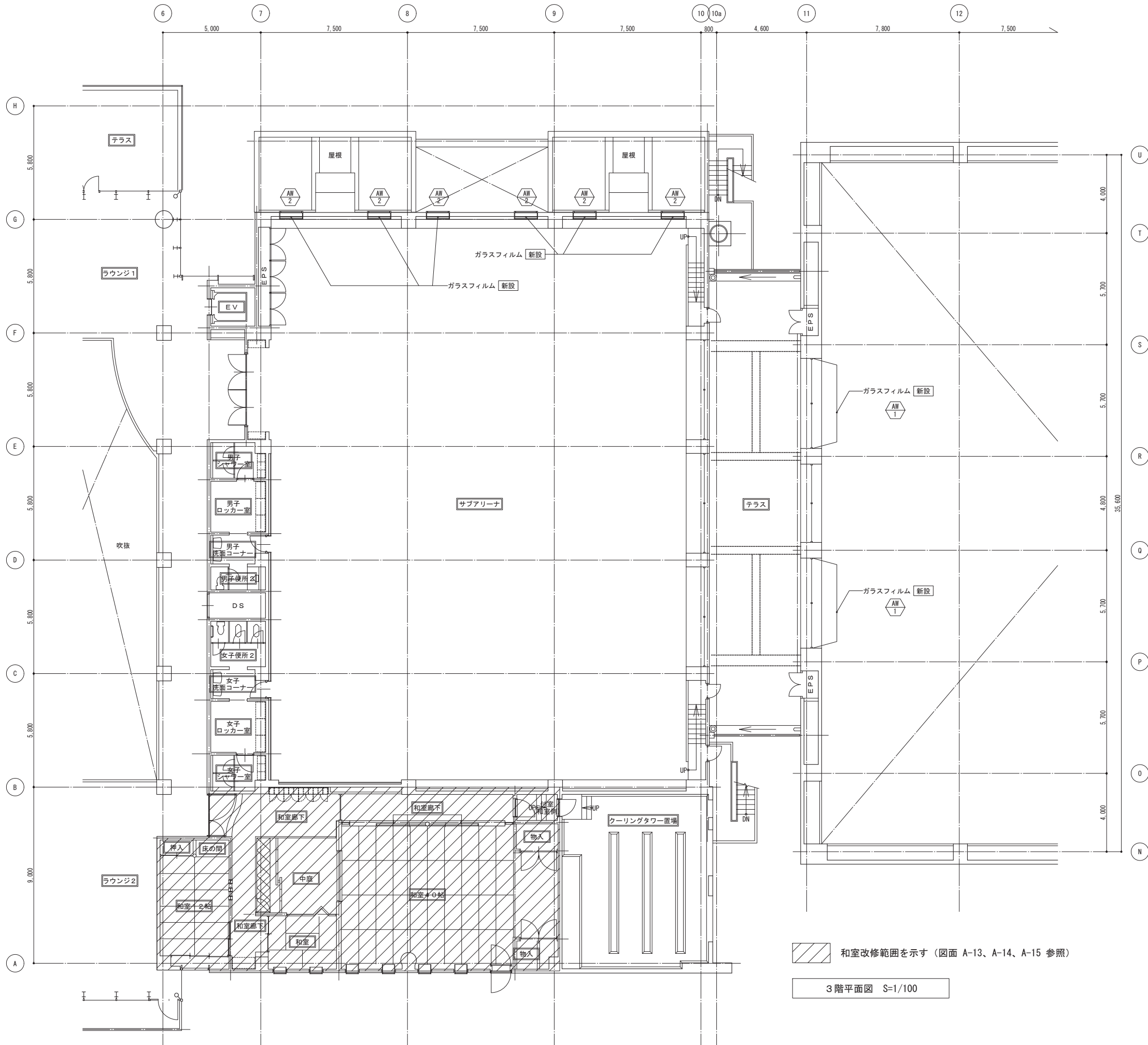
工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮尺	A1:1/400、2000 A3:1/800、4000	図面番号	A-05
設 計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



2階平面図 S=1/100

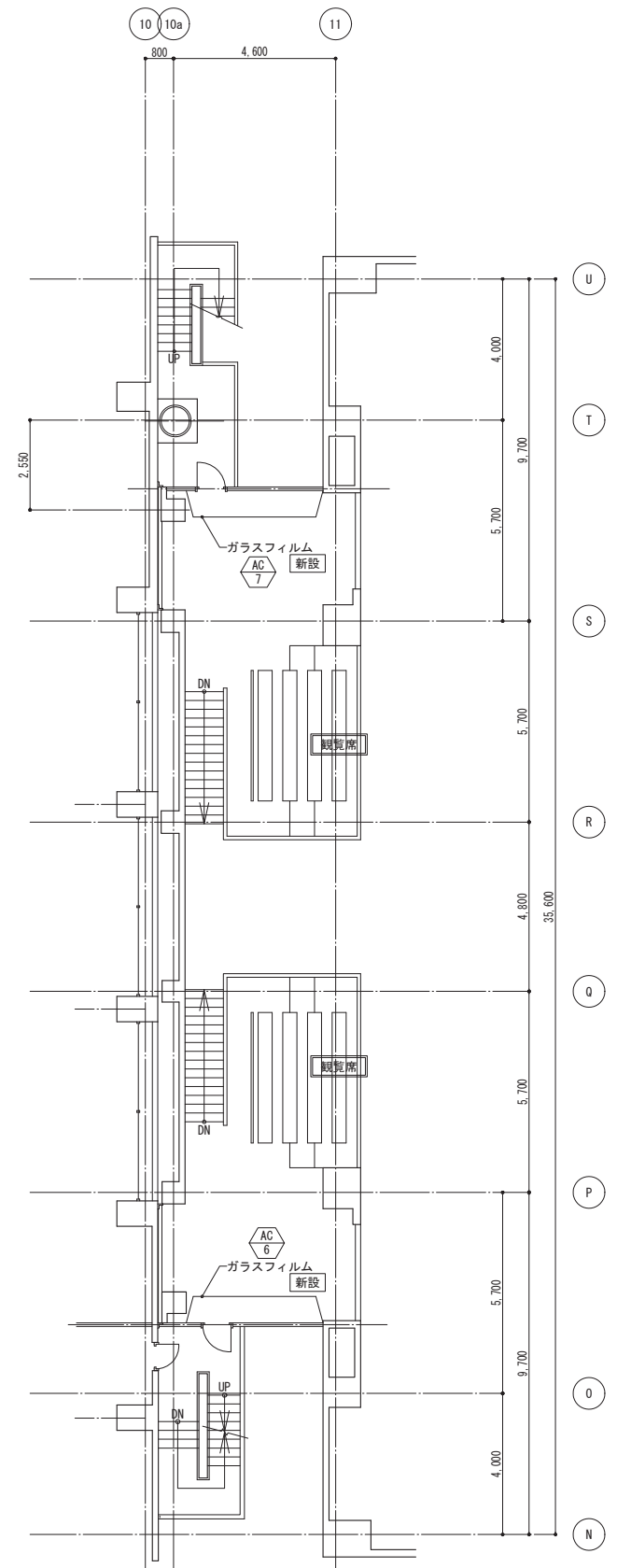
※※ ガラスフィルム新設

工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	2階 平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設 計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



和室改修範囲を示す (図面 A-13、A-14、A-15 参照)

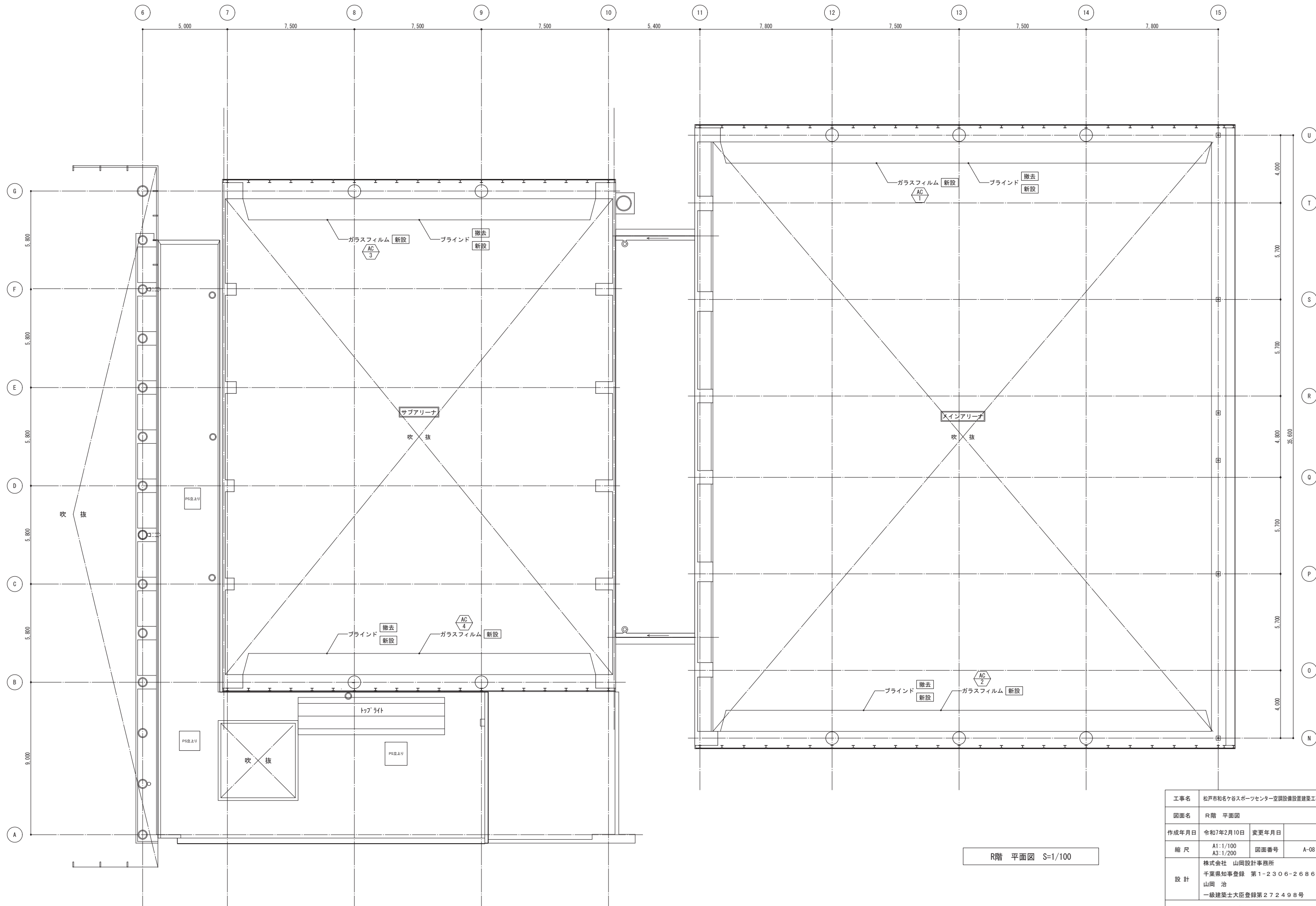
3 階平面図 S=1/100



中 2 階 (観覧席) 平面図 S=1/100

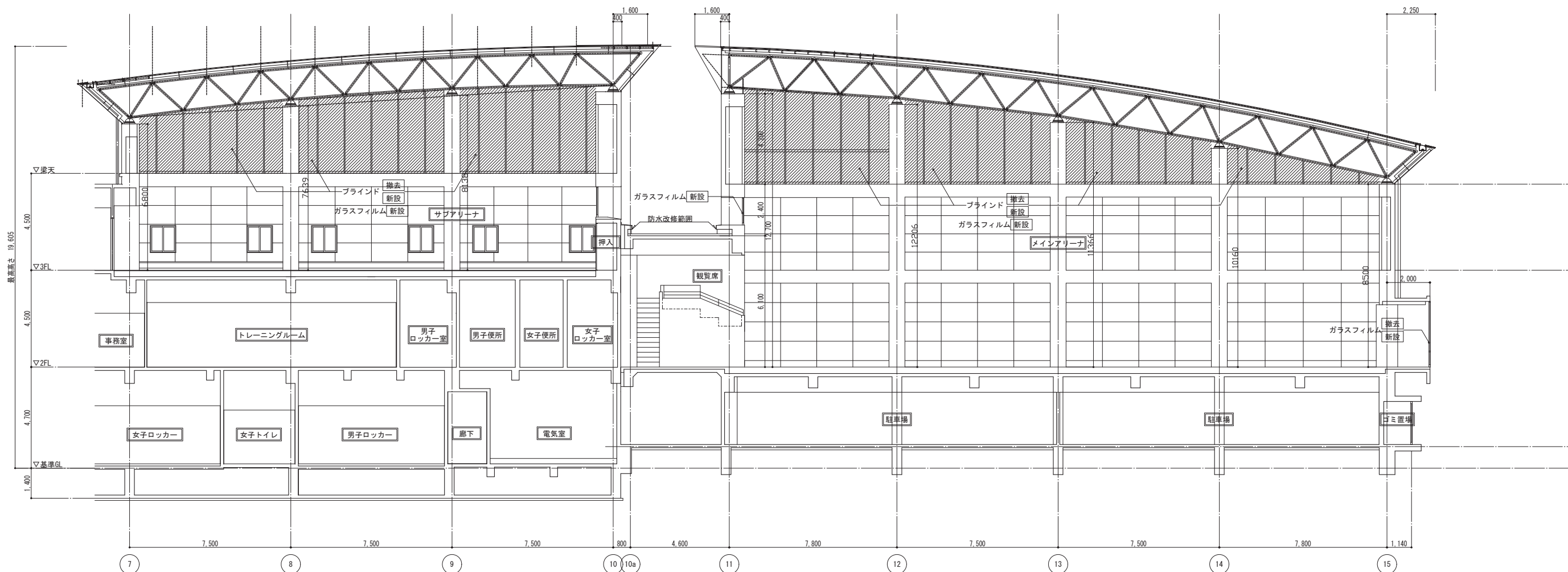
…ガラスフィルム新設

工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	3 階 平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設 計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第 1-2306-2686 号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



R階 平面図 S=1/100

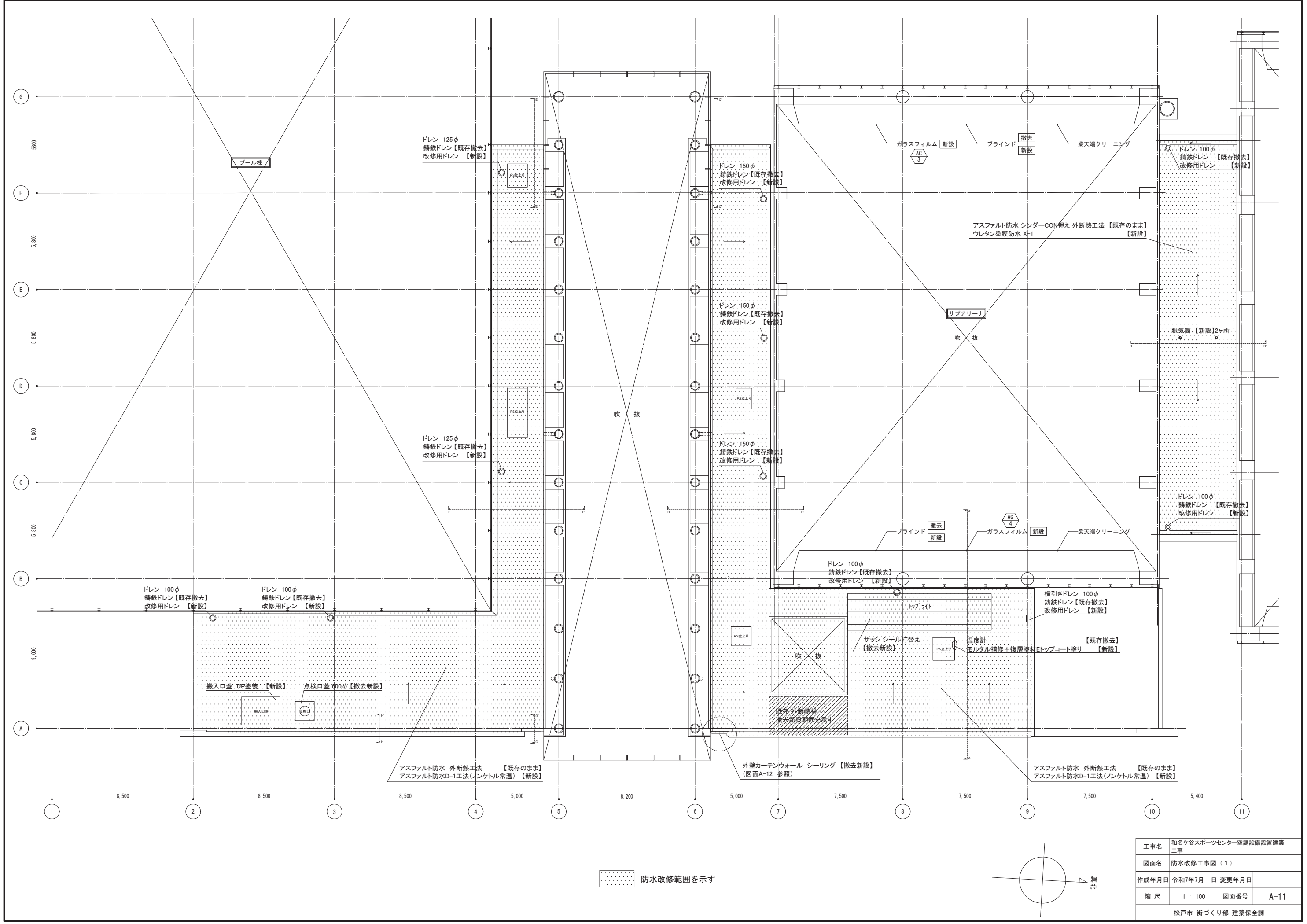
工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	R階 平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-08
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



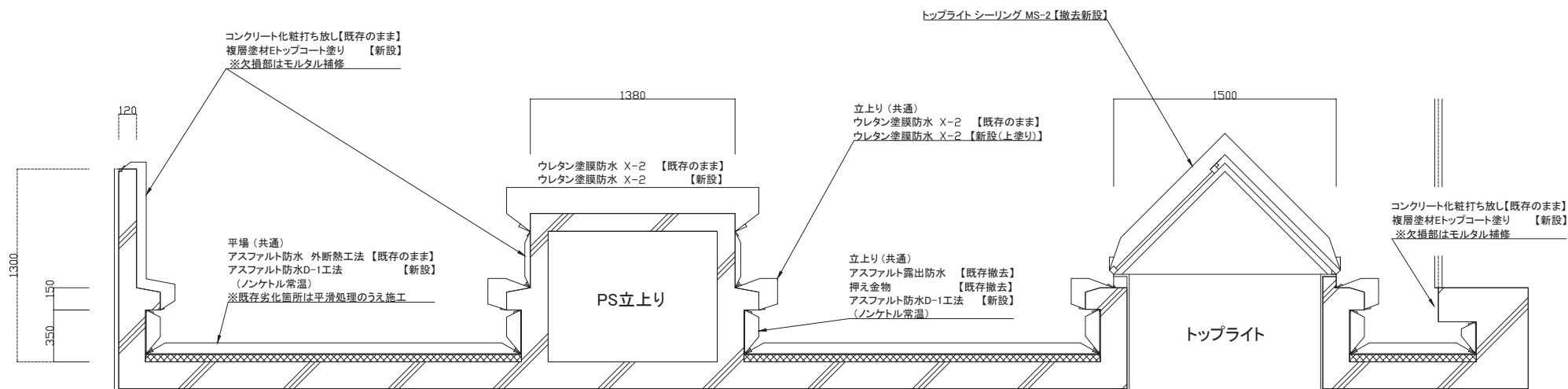
断面図 S=1/100

撤去・新設範囲

工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	断面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-09
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

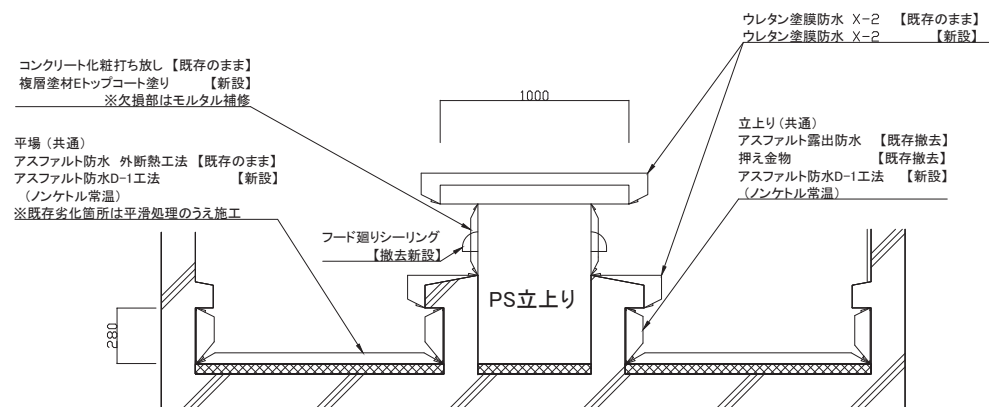


工事名	和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	防水改修工事図（１）		
作成年月日	令和7年7月	日	変更年月日
縮尺	1：100	図面番号	A-11
松戸市 街づくり部 建築保全課			

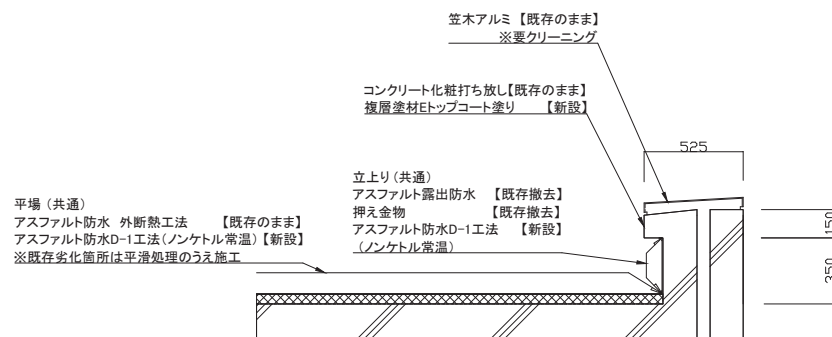


A-A' 断面詳細図 1:20

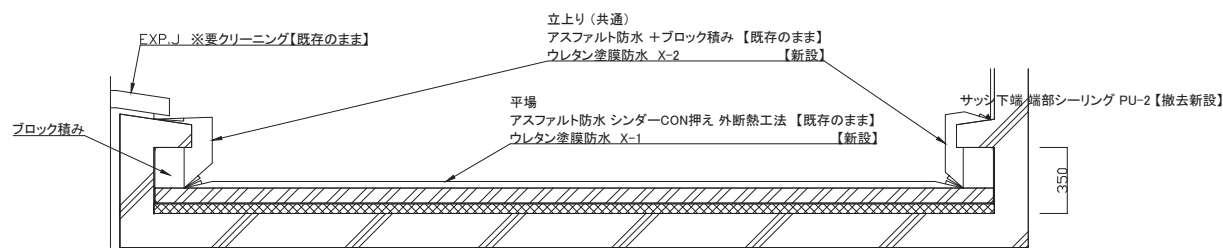
■ H-H'断面詳細図 は A通り部分とする



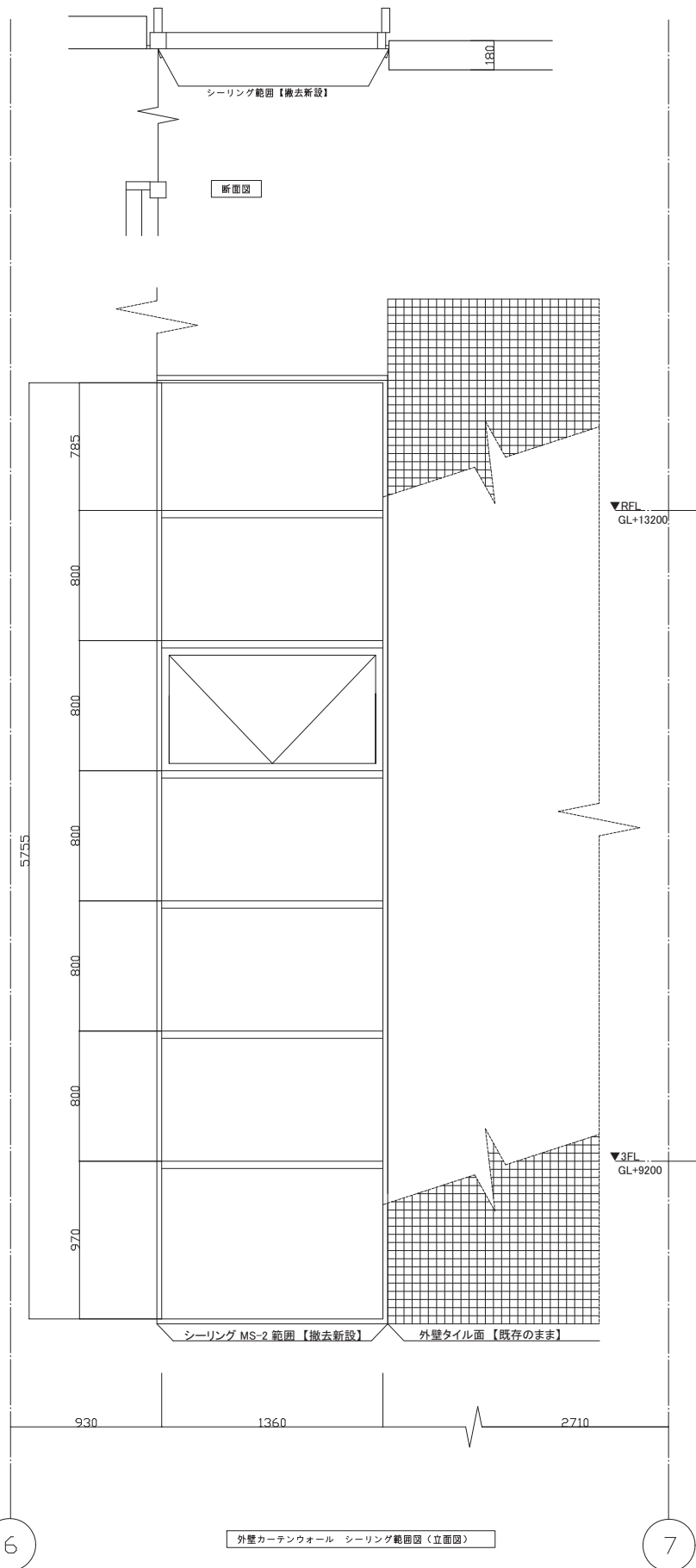
B-B' F-F' 断面詳細図 1:20



C-C' E-E' G-G' 断面詳細図 1:20



D-D' 断面詳細図 1:20

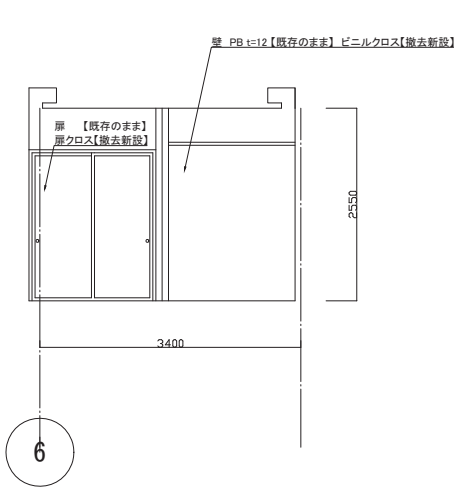
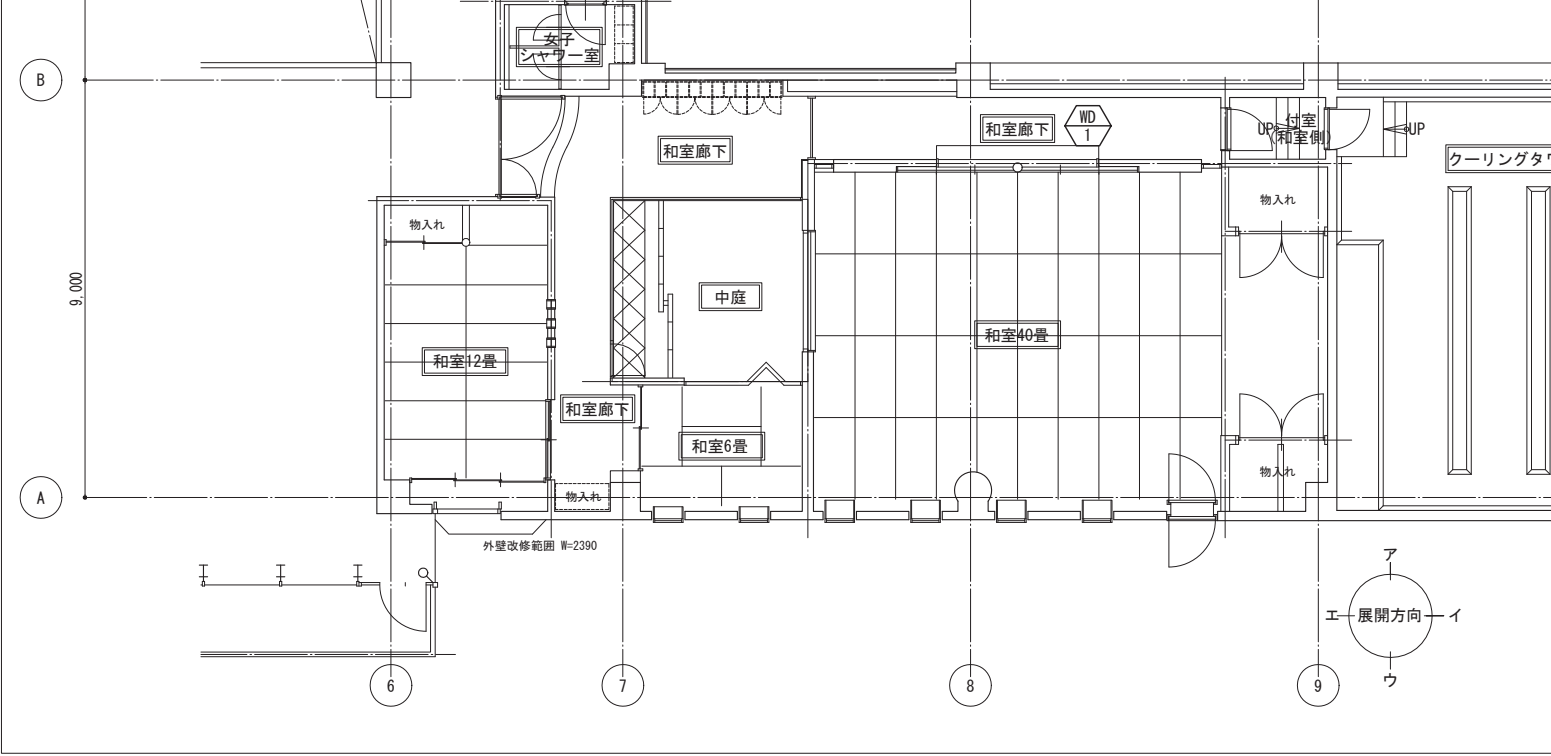


工事名	和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	防水改修工事図 (2)		
作成年月日	令和7年7月 日	変更年月日	
縮尺	1:20	図面番号	A-12
松戸市 街づくり部 建築保全課			

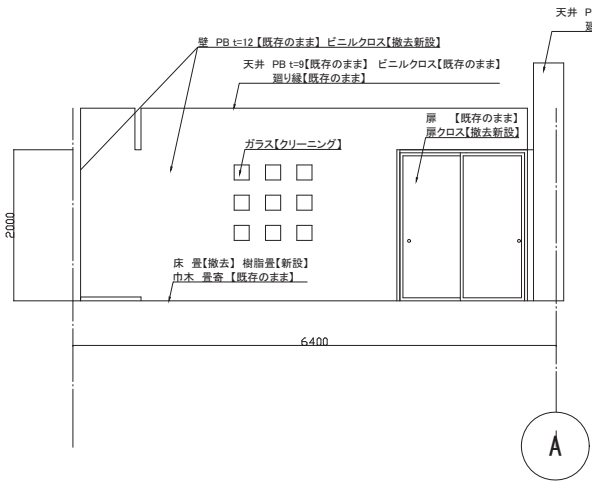
室名	和室 40畳	室名	和室 12畳
床	畳【撤去】 樹脂畳【新設】	床	畳【撤去】 樹脂畳【新設】
巾木	畳寄 【既存のまま】	巾木	畳寄 【既存のまま】
壁	C化粧打放し EP塗装【塗り替え】 PB t=12【既存のまま】 ビニルクロス【撤去新設】	壁	PB t=12【既存のまま】 ビニルクロス【撤去新設】
天井	PB t=9【既存のまま】 ビニルクロス【撤去新設】 廻り縁【既存のまま】	天井	PB t=9【既存のまま】 ビニルクロス【既存のまま】 廻り縁【既存のまま】
備考		備考	

室名	和室 6畳	室名	和室 廊下
床	畳【撤去】 樹脂畳【新設】	床	フローリング t=12【既存のまま】
巾木	畳寄 【既存のまま】	巾木	杉貼集成材 【既存のまま】
壁	PB t=12【既存のまま】 ビニルクロス【撤去新設】	壁	C化粧打放し EP塗装【塗り替え】 PB t=12【既存のまま】 ビニルクロス【撤去新設】
天井	杉桎貼化粧石膏ボード【既存のまま】 ビニルクロス【新設】 廻り縁【既存のまま】	天井	PB t=9【既存のまま】 ビニルクロス【撤去新設】 廻り縁【既存のまま】 C化粧打放し EP塗装【塗り替え】
備考		備考	

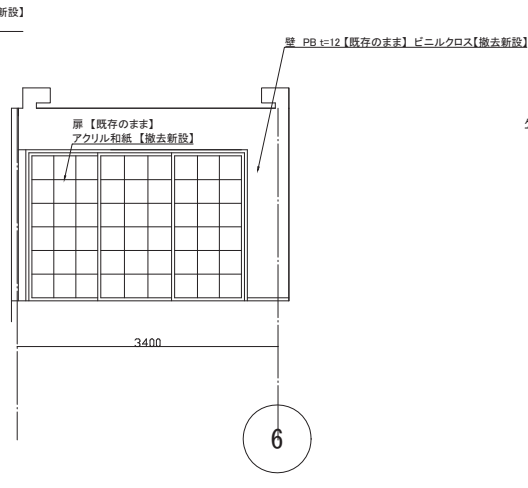
※(共通事項) ・壁の看板・掲示物等は取り外し・再取り付け



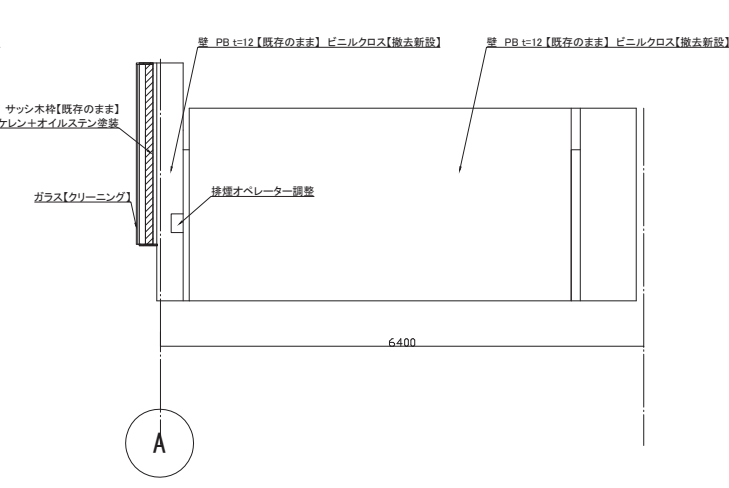
和室12畳 ア面



和室12畳 イ面

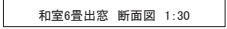
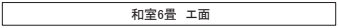
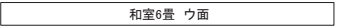
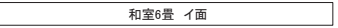
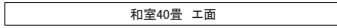
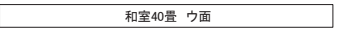
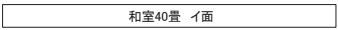
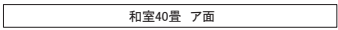


和室12畳 ウ面

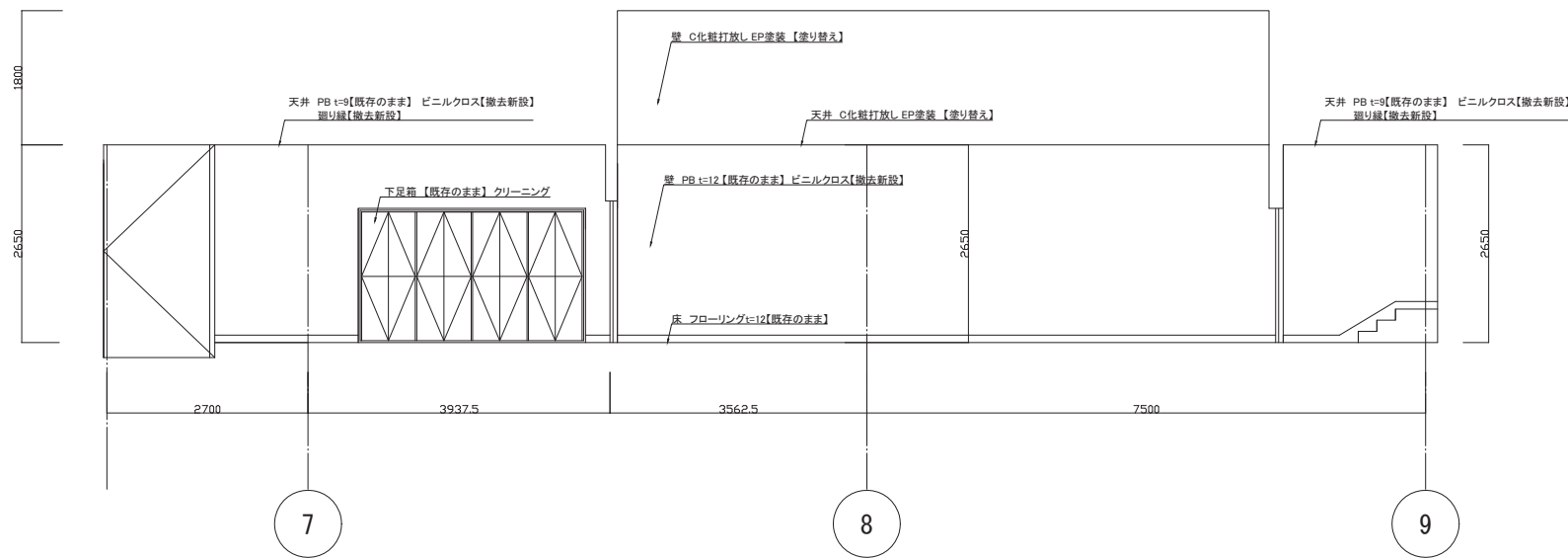


和室12畳 エ面

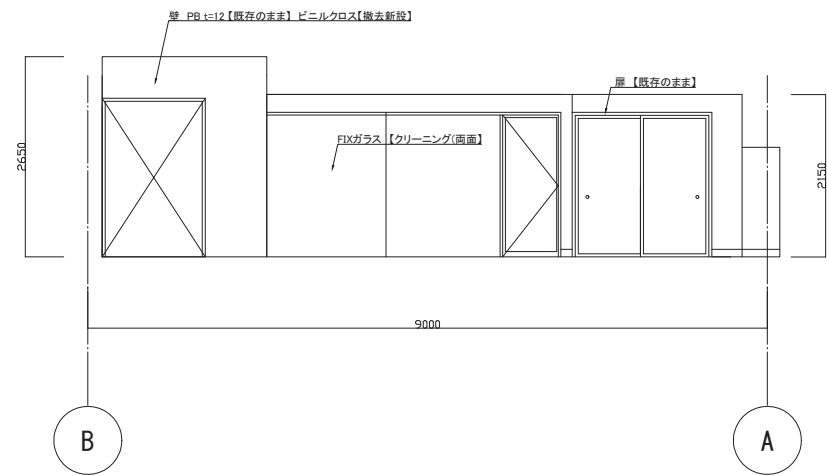
工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター 空調設備設置建築工事		
図面名	和室改修工事図 (1)		
作成年月日	令和7年7月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 50	図面番号	A-13
松戸市 街づくり部 建築保全課			



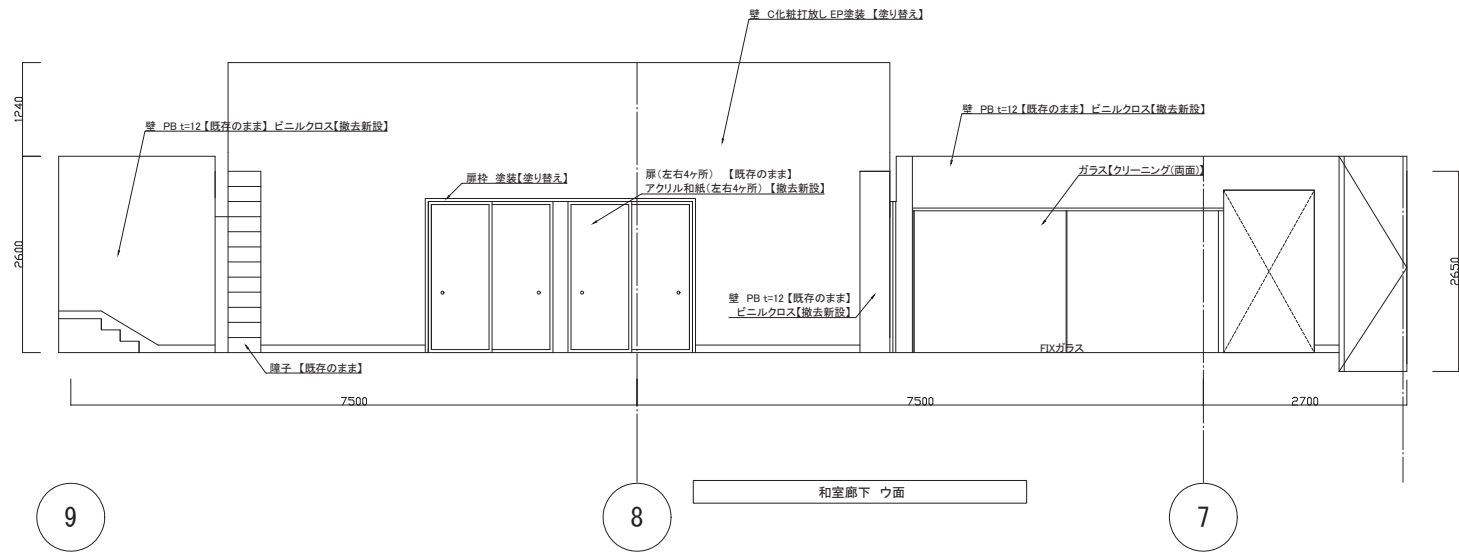
工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター 空調設備設置その他改修工事		
図面名	和室改修工事図（２）		
作成年月日	令和7年7月	日	変更年月日
縮尺	1：50	図面番号	A-14
松戸市 街づくり部 建築保全課			



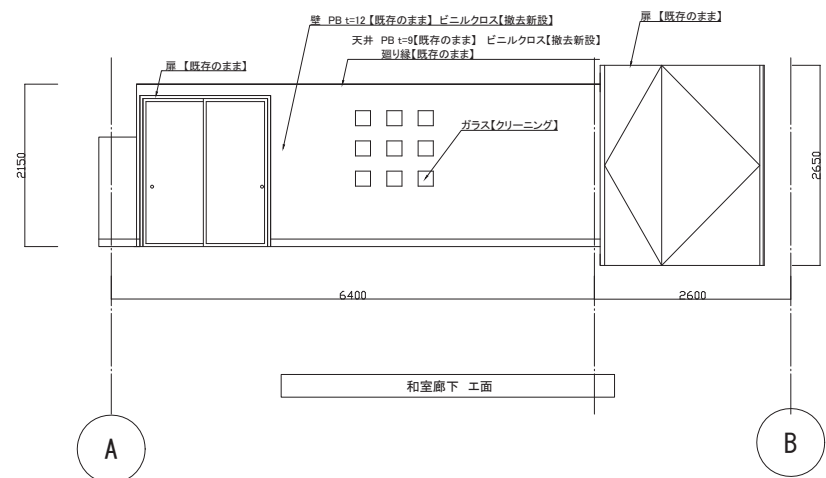
和室廊下 ア面



和室廊下 イ面

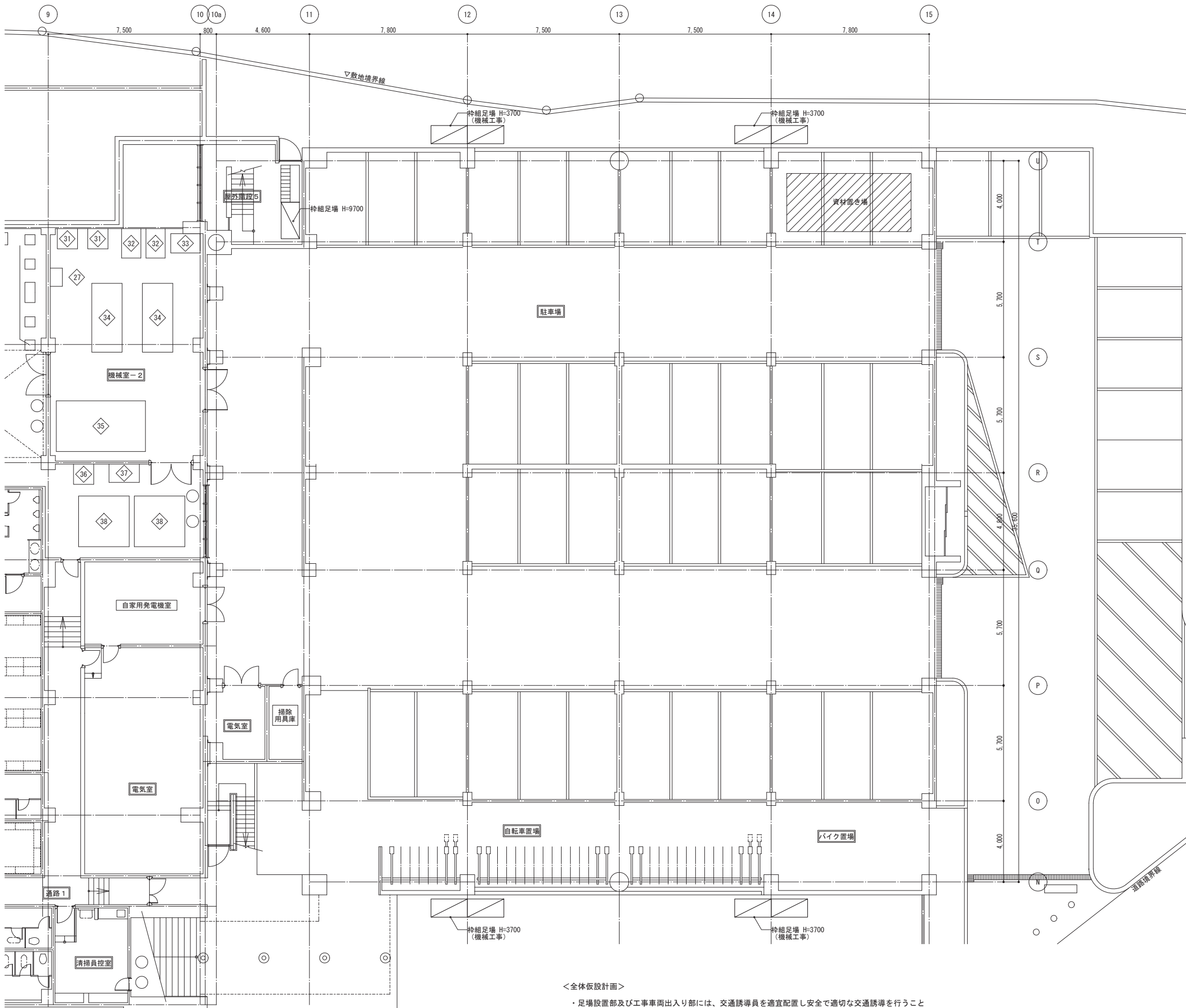


和室廊下 ウ面



和室廊下 エ面

工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター 空調設備設置その他改修工事		
図面名	和室改修工事図 (3)		
作成年月日	令和7年7月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 50	図面番号	A-15
松戸市 街づくり部 建築保全課			



仮 設 凡 例	
	外部足場：枠組足場W914
	外部足場：枠組足場W914 階段付き

<全体仮設計画>

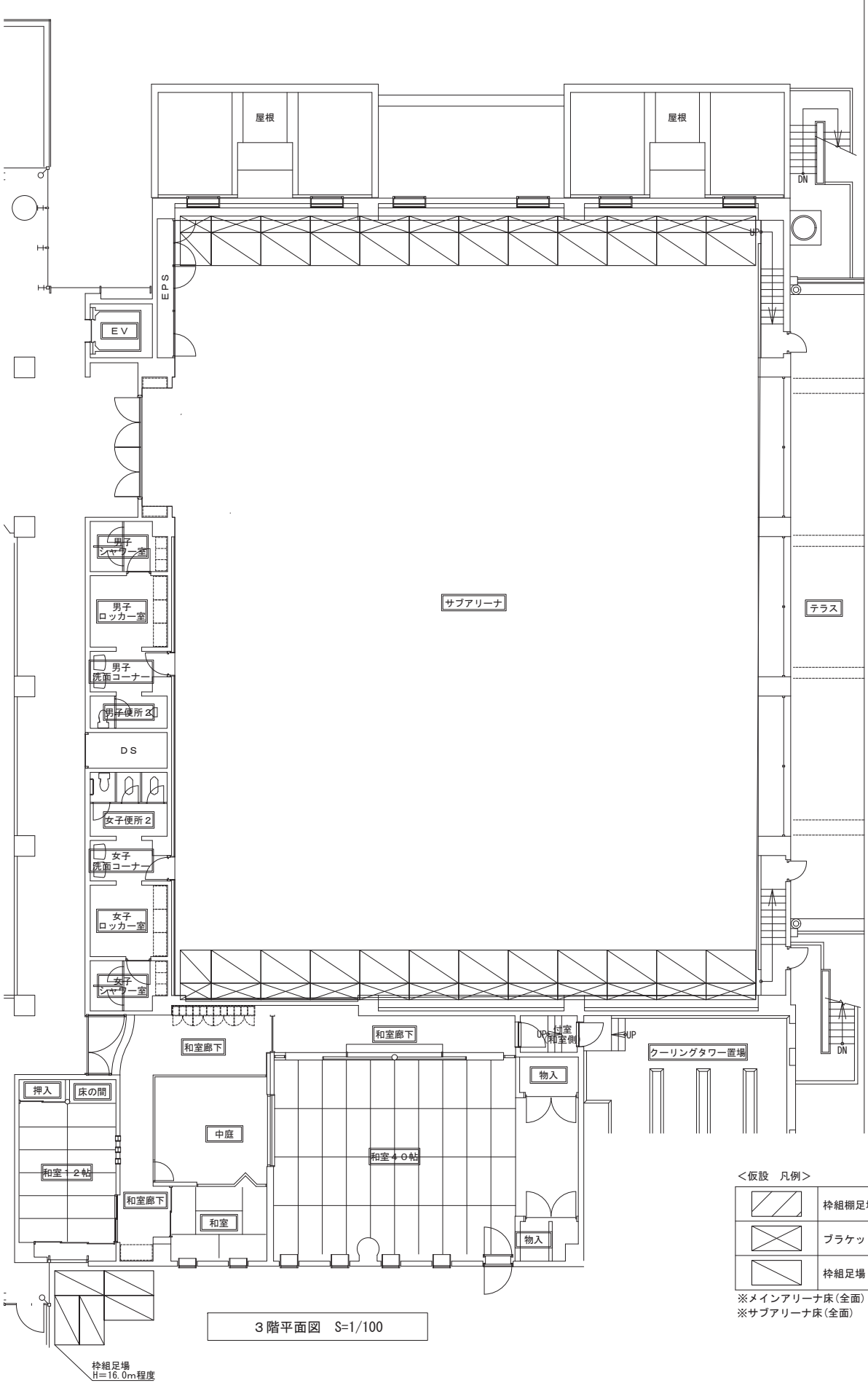
- ・足場設置部及び工事車両出入り部には、交通誘導員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
- ・施設利用者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・パー）を適宜設置すること

<特記事項>

- ・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し 請負者負担で設置すること
- ・仮設設置を行う前に、施設管理者、監督職員、別途発注の電気設備工事及び機械設備工事の受注者と調整すること。
- ・駐車場については、隔地駐車場を利用できるため、詳細については施設管理者と調整すること。

1 階平面図 S=1/100

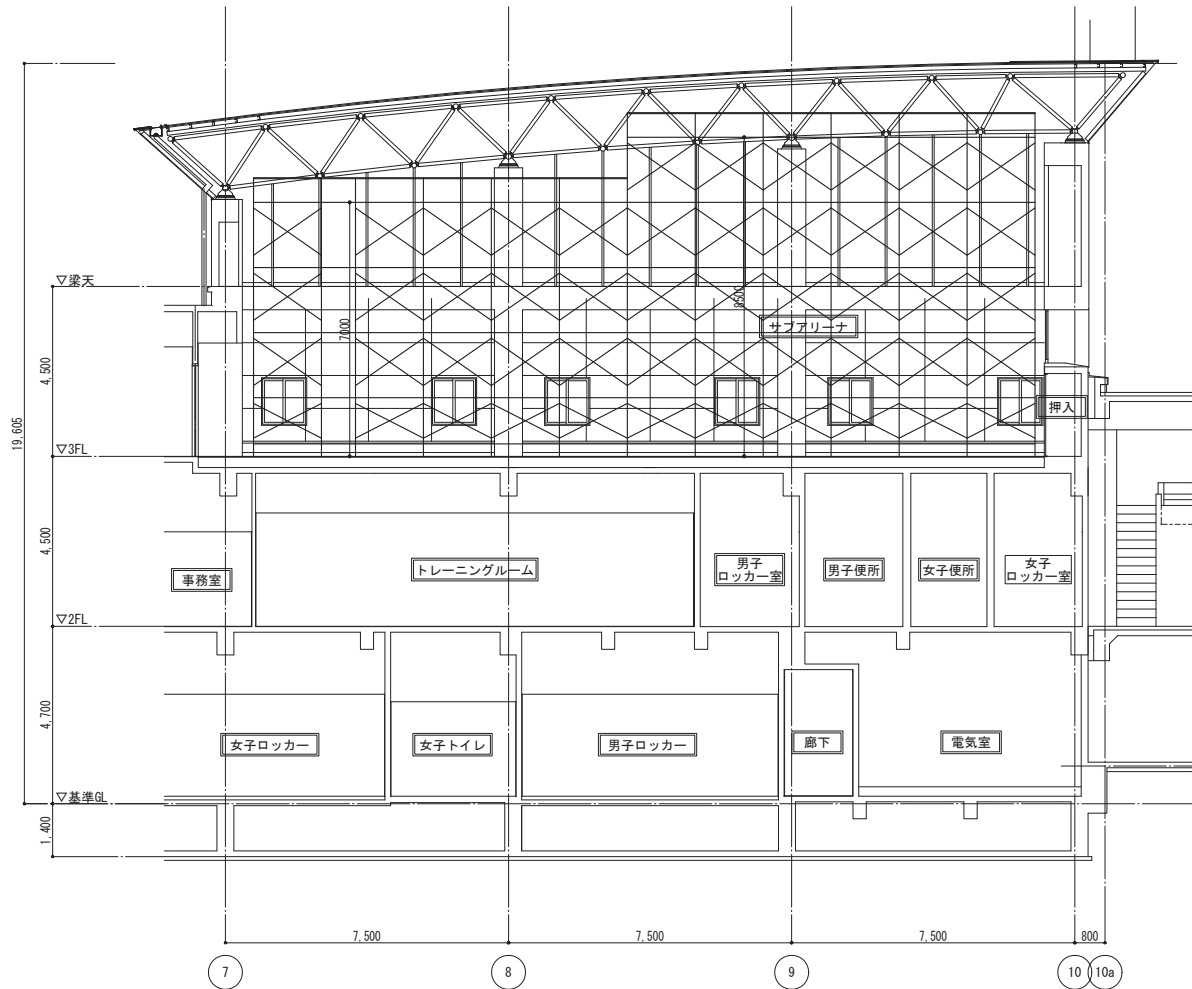
工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	外部仮設計画面図（参考図）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-16
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



<仮設 凡例>

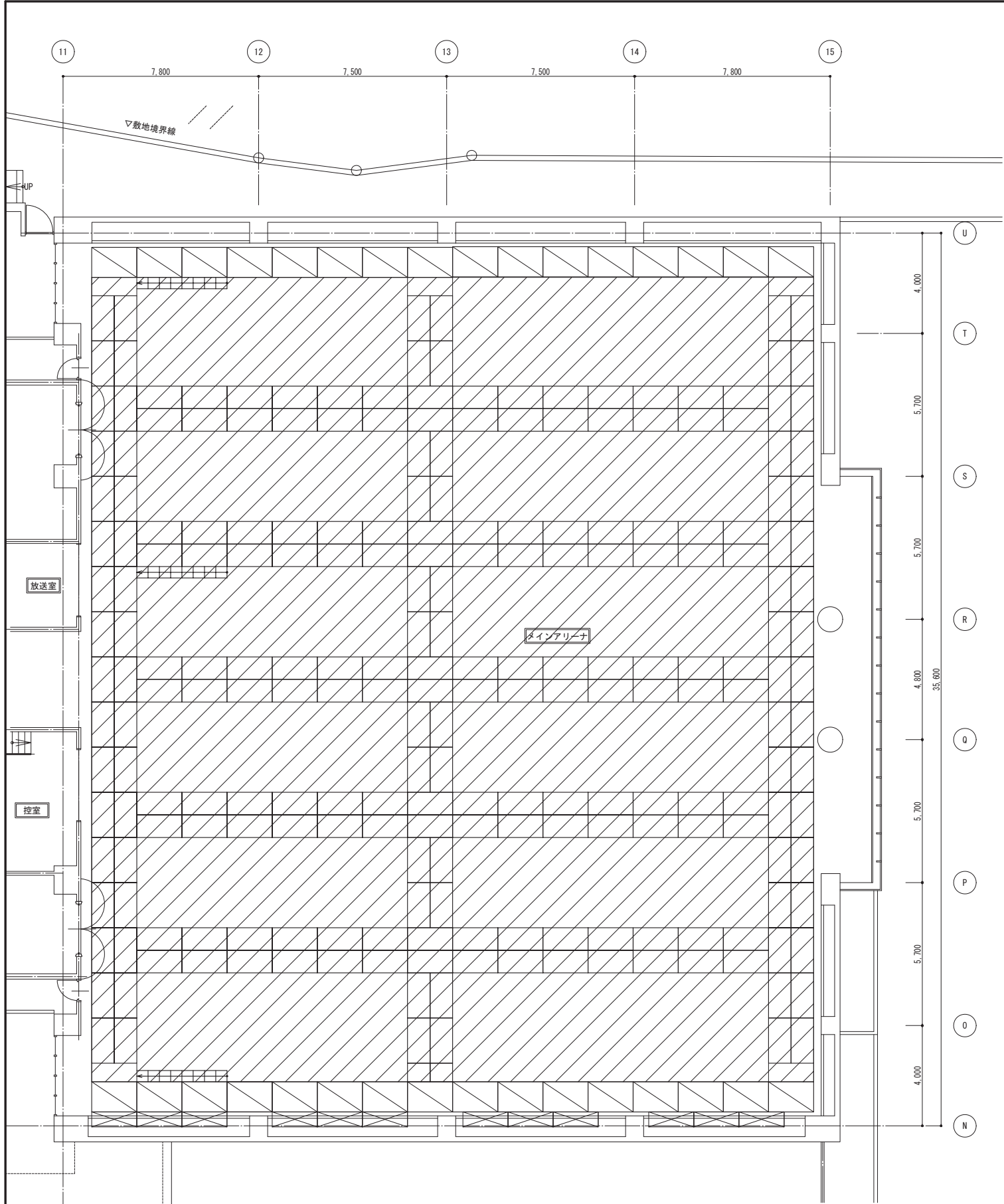
	枠組足場
	ブラケット足場 W600
	枠組足場 W1200

※メインアリーナ床(全面) : ブルーシート養生 + 合板 t12 養生
※サブアリーナ床(全面) : ブルーシート養生 + 合板 t12 養生



- <全体仮設計画>
- ・足場設置部及び工事車両出入り部には、交通誘導員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
 - ・施設利用者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を適宜設置すること
- <特記事項>
- ・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し 請負者負担で設置すること
 - ・仮設設置を行う前に、施設管理者、監督職員、別途発注の電気設備工事及び機械設備工事の受注者と調整すること。

工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	内部仮設計計画図（参考図）（1）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-17
設 計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

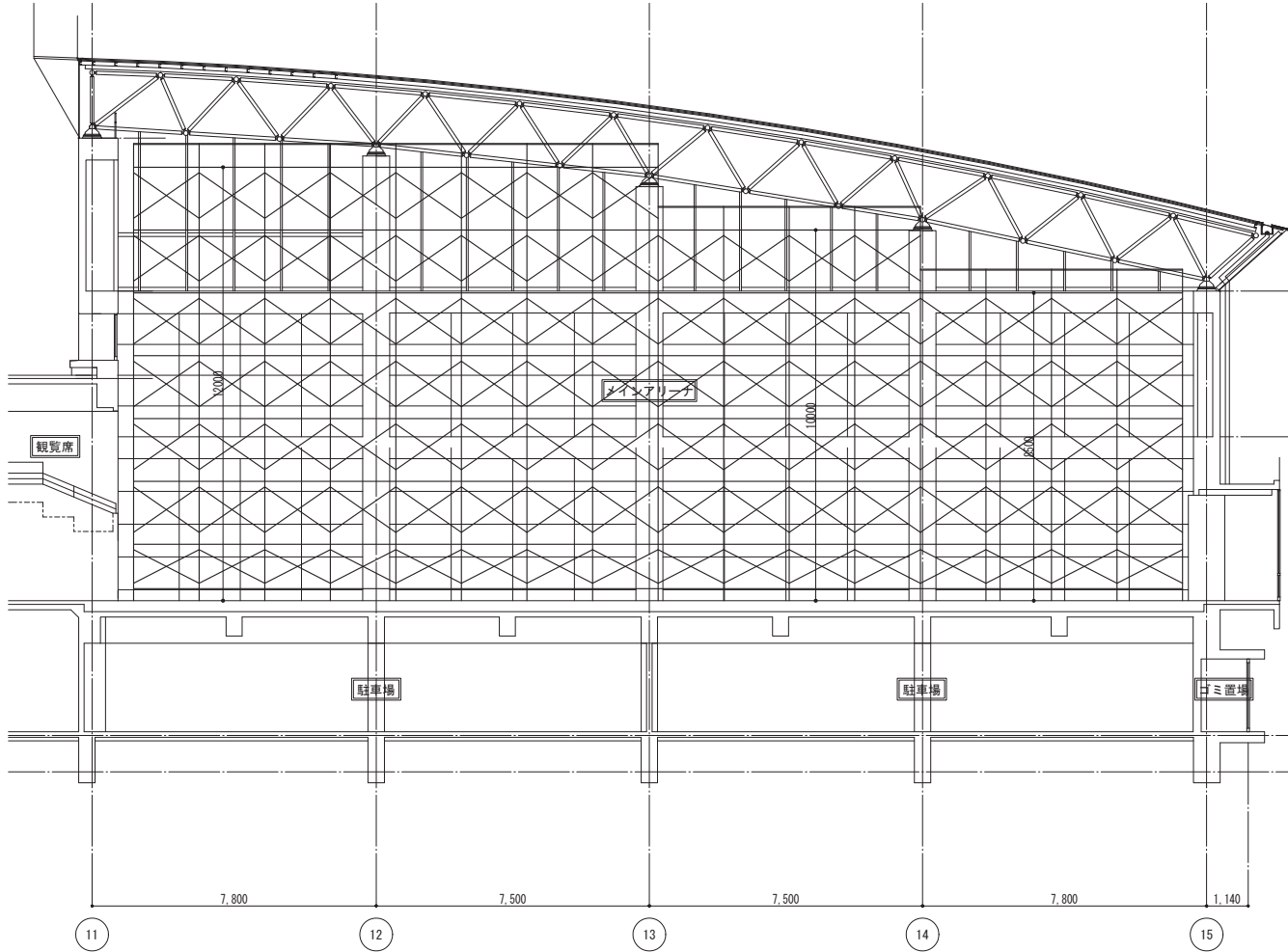


2階平面図 S=1/100

<仮設 凡例>

	枠組棚足場
	ブラケット足場 W600
	枠組足場 W1200

※メインアリーナ床(全面)：ブルーシート養生 + 合板 t12 養生
※サブアリーナ床(全面)：ブルーシート養生 + 合板 t12 養生



断面図 S=1/100

<全体仮設計画>

- ・足場設置部及び工事車両出入り部には、交通誘導員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
- ・施設利用者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を適宜設置すること

<特記事項>

- ・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し 請負者負担で設置すること
- ・仮設設置を行う前に、施設管理者、監督職員、別途発注の電気設備工事及び機械設備工事の受注者と調整すること。

工事名	松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事		
図面名	内部仮設計画面図（参考図）（2）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮 尺	A1：1/100 A3：1/200	図面番号	A-18
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》（2025.7）

1. 工事名称 松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事

2. 工事場所 松戸市和名ヶ谷1, 360番地

3. 工 期 令和 年 月 日 から 令和 8年 3月 19日 まで

4. CADデータの貸与 ☒有 ☐無

※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。

※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。

※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。

※4. 基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 着 工 前 に 提 出	■工事实績情報（工事カルテ）の登録 （受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ） ※契約額が500万円以上（契約後10日以内に登録） 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事 適正化指導要綱	代表者
	☐ 電気保安技術者通知書 （資格者証の写し） 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図 【下請契約後14日以内に提出（下請契約がない場合不要）】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事 適正化指導要綱	
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 1. 組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 中 に 提 出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・ 機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製コンクリート杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	■試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	■現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完 成 後 に 提 出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		代表者
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	
	■ 1 工事記録写真 ■ 2 完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳 写真帳	1 1		
	■完成図 PDF, CADデータ	CDもし くはDVD	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	□電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	CDもし くはDVD	2 1	※松戸市建築事業 に係る電子納品 運用ガイドライ ン（案）	
	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■ 1 予備品等引渡通知書（リスト共） □ 2 キーボックス		3		
	■防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 □ 1 建築物等の利用に関する説明書 ■ 2 保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） ■ 3 機器性能試験成績書 ■ 4 官公署届出書類	原則、 CDもし くはDVD	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□ 5 総合試運転報告書 □ 6 総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》 建築工事編 (2025.7)

1. 工事名称 松戸市和名ヶ谷スポーツセンター空調設備設置建築工事
2. 工事場所 松戸市和名ヶ谷1, 360番地
3. 工 期 令和 年 月 日 から 令和 8年 3月 19日 まで

標 仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備 考
1	検査		
	■ 1 品質管理検査(必要に応じて)	標 仕 1. 3.6 改標仕 1. 3.6	
	■ 2 材料の検査(承諾済は除く)	標 仕 1. 4.4 改標仕 1. 4.4	
	■ 3 施工の検査等	標 仕 1. 5.5 改標仕 1. 7.5	
	□ 4 敷地の状況確認及び縄張り	標 仕 2. 2.1	
	□ 5 ベンチマーク	標 仕 2. 2.2	
	□ 6 遣方	標 仕 2. 2.3	
	□ 7 根切り	標 仕 3. 2.1 改標仕 8.28.3	
	□ 8 地業工事 掘削深さ及び支持層 (アースリ工法、リバー工法、オルケーシング工法)	標 仕 4. 5.5	
	□ 9 配筋検査	標 仕 5. 1.3 改標仕 8. 3.1	
	□ 10 コンクリート打ち込み後補修	標 仕 6. 9.6 改標仕 8. 8.6	
	□ 11 高力ボルト締付確認の記録	標 仕 7. 4.8 改標仕 8.14.8 改標仕 8.20.7	
	□ 12 鉄骨建方	標 仕 7.10.5	
	□ 13 鉄骨現場組立て	改標仕 8.19.3	
	□ 14 鋼板巻組立て	改標仕 8.23.6	
	■ 15 防水層の施工	標 仕 9. 1.3 改標仕 3. 1.3	
	□ 16 タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標 仕 11. 1.7 改標仕 4. 4.8 改標仕 6.16.2	
	□ 17 部分使用		
	□ 18 出来高		
2	立会い		
	■ 1 材料の検査に伴う試験	標 仕 1. 4.5 改標仕 1. 4.5	
	■ 2 監督職員の指示による立会い	標 仕 1. 5.8 改標仕 1. 7.8	
	□ 3 地業工事の試験による立会い (杭又は支持地盤の位置及び土質の試験)	標 仕 4. 2.1 改標仕 8.28.4	